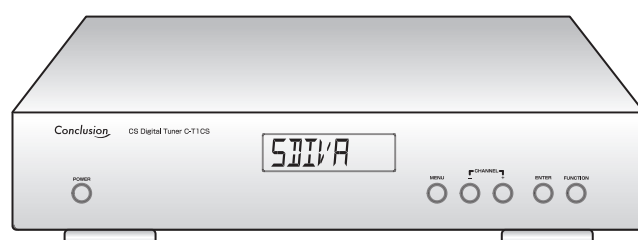
ミュージックバード対応 CS チューナー

Conclusion C-T1CS

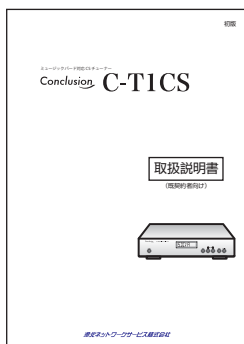
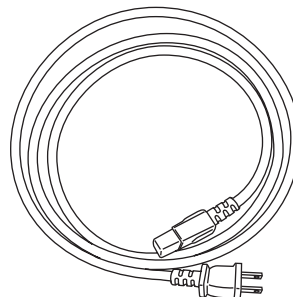
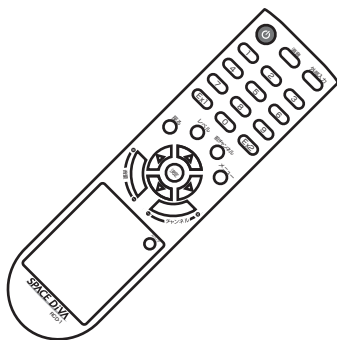
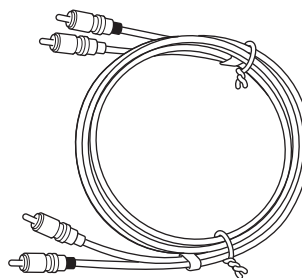
取扱説明書

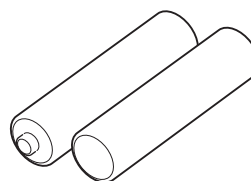
港北ネットワークサービス株式会社

はじめに

この度は Conclusion C-T1CS をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございました。
本機は、本格的なオーディオファンのためのミュージックバード専用チューナーとして開発されました。Wolfson Electoronics 社製高音質 24bit D/A コンバータをデュアル実装、その能力を存分に発揮できるよう、多くのノウハウと高級オーディオ用電子部材をふんだんに投入し構成された回路、真鍮削り出しフットや無垢のアルミを切削加工したフロントパネルなど、こだわりぬいて設計された高音質チューナーです。
はじめて本機をお使いになる方は本書を必ずご参照の上、記載の手順に従い、設置作業を進められますようお願い申し上げます。

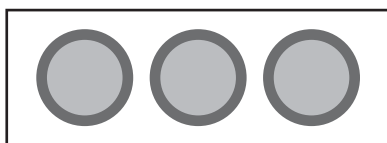
目次

付属品を確認する

まず始めに付属品をご確認ください

（本書）

（電源ケーブル）

（リモコン）

（オーディオケーブル）

（スマートカード）

（単四乾電池）

（キズ防止シート）

お客様保管

製品保証書

品名：Conclusion C-T1CS　保証期間：20　年　月まで

本機のチューナーIDとスマートカードID

ここにラベル貼付されていないものは無効です

本保証書は保証期間中、裏面の無償保証規定に定める範囲内で、本製品に動作上の問題が発生した場合に限り、無償修理をお約束するものです。
本保証書はお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
保証期間内外に関わらず、当該製品におけるアフターサービスのご相談はお気軽に弊社までお問い合わせ下さい。

港北ネットワークサービス株式会社
神奈川県横浜市青葉区市ヶ尾町1156-15-2F　TEL.045-507-3091　FAX.045-507-3092

（保証書）

安全のために

本機を安全にご使用頂くためにお守り頂きたいことが記載されています

■表示について

本書では誤った使い方をすると想定される危険性別に記号を用いて説明しています。
使用している記号は次のとおりです。

⚠警告‥‥ 誤った使い方をすると、火災や感電などにより、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

⚠注意‥‥ 誤った使い方をすると、怪我をしたり、家財に損傷を与えたりする可能性が想定される内容です。

高温注意　感電注意

‥‥ これらのマークは注意を促しています。

分解禁止　ぬれ手禁止

‥‥ これらのマークは禁止事項を示しています。

電源プラグを抜く　必ずする

‥‥ これらのマークは必ず実施しなくてはならないことを示しています。

⚠警告

異常がある状態で使用しない

故障の際や次のような場合は使用せずに、すぐに電源プラグを抜き、当社までメンテナンスを依頼して下さい。

電源プラグを抜く

- 発煙している、異臭がする、変な音がする
- 本機に液体がかかった、内部に異物が混入した
- 本機を落とした

キャビネットを開けない、分解しない

分解禁止

お客様自身による内部の点検や改造は、火災や感電の原因となります。
点検のご依頼や改造は当社までご相談下さい。

⚠警告

本体の上にものを置かない

使用中は温度が上昇することがあります。効率よく排熱できるよう、本機上面にものを置かないでください。また、次のことを順守下さい。

・本機の上部に物を置かない
・本機の全面および背面に 20cm 以上の十分な隙間を設ける
・本機を発熱する物（アンプなど）の上に設置しない
・通風の無い環境で使用しない
・室温 35 度以上の環境で使用しない

水気のある場所で使用しない

本機に水滴や液体が混入すると、火災や感電の原因となります。次のことを順守下さい。

・浴室など湿度の高い場所で使用しない
・本機の上部や周辺に水や液体が入ったものを置かない
・水滴がかかる場所で使用しない
・加湿器の近くに設置するなど、水蒸気がかかる場所で使用しない

電源ケーブルを傷つけない

電源ケーブルの取り扱いを誤ると火災や感電の原因となります。次のことを順守下さい。

・電源ケーブルを踏みつけたり、重いものを載せた状態で使用しない
・電源ケーブルを束ねた状態で使用しない
・電源ケーブルを加工したり、傷つけたり、引っ張ったりしない
・電源ケーブルをコンセントに接続した際、突っ張った状態になるような場所に設置しない
・熱器具の近くなど、電源ケーブルが加熱されるような場所に設置しない

雷が鳴り出したら操作しない

雷が鳴っている際に本機やケーブル類、電源プラグなどに触れると感電の原因となります。

本機内部に異物を入れない

異物が混入すると、火災や感電の原因となります。特にお子様がいる環境ではご注意下さい。

⚠注意

水平で十分な強度のある場所に設置する

本機は約 9.5kg の重量があります。不安定な場所に設置すると、思わぬ事故や怪我に繋がる恐れがあります。振動がなく、安定し、水平で十分な強度がある台に設置して下さい。

日本国内のみで使用する

本機は日本の標準電圧（交流 100V）で設計されています。表記の電源電圧以外で使用しないでください。

電源プラグは確実に差し込む

電源ケーブルや電源コネクタの取り扱いを誤ると火災や感電の原因になります。

屋外で使用しない

本機は室内で使用することを前提に設計されています。
本機に直射日光が当たるようなところでの使用を避けてください。

業務用途で使用しない

本機は民生機器です。業務用途で使用しないでください。

2.1 各部の名称と働き　－本体－

この項では本機に実装されているボタンや端子類について説明します

[フロントパネル]

表示部（LED ディスプレイ）
チャンネルやメニューなどを表示します。

リモコン受光部
リモコンの受光部になっています。ものでふさがないようにしてください。

スタンバイ LED
ミュージックバードの放送衛星以外を受信したことなどを示します。詳しくは 3.8 項を参照してください。

POWER ボタン
本機の電源をオンにしたり、スタンバイにしたりします。

CHANNEL ボタン
チャンネルを上げたり、下げたりします。長押しすると 10 ずつ変更できます。

FUNCTION ボタン
メニューモードから抜けたり、一つ前のメニューモードに戻ります。

MENU ボタン
各種設定を行うメニューモードを表示させたり、消したりします。

ENTER ボタン
メニューモードで設定変更時、変更を適用する際に使用します。

[リアパネル]

アンテナ入力端子
F 型接栓に対応しています。レンチなどの工具で締め付けないでください。

サンプリング周波数変更スイッチ
内部動作モードを変更します。本機能については 6.1 項を参照してください。スイッチの切り換えはスタンバイ状態で行います。

スマートカード差込口
添付のスマートカードを予めここに差し込んで使用します。詳しくは 3.2 項を参照してください。

電源入力端子
付属の電源ケーブルを接続し、片側をコンセントに差し込みます。

光デジタル音声出力端子
S/PDIF に準拠しています。他の出力端子と同時に使用することができます。

アナログ音声出力端子
添付や市販の RCA ステレオオーディオケーブルでアンプ等のアナログ音声入力と接続します。

同軸デジタル音声出力端子
S/PDIF に準拠しています。他の出力端子と同時に使用することができます。

外部同期切替スイッチ
クロックジェネレーターを本機と接続する場合に限り EXT 側に切り替えます。

外部同期信号入力端子
BNC ケーブルでクロックジェネレーターからの出力をここに入力します。詳しくは 3.1 項を参照してください。

各部の名称と働き　－リモコン－

この項ではリモコンのボタンとその機能について説明します

電源ボタン

本機の電源をオンにしたり、
スタンバイにしたりします。

数字ボタン

チャンネルを直接入力したり、
各種設定時に数字を入力する
のに使用します。
例えば、[The Classic] を聴
取する場合は１・２・１と入
力します。

Ex1 ボタン

使用していません。

レベルボタン

受信レベルを表示します。

戻るボタン

メニューから抜けたり、
一つ前のモードに戻ります。

音量調整ボタン

使用できません。(設定値を
変えても反映されません。)

方向ボタン・決定ボタン

左右ボタンはメニューモー
ドの項目選択に使用しま
す。決定ボタンは選択され
ている項目で確定する際に
使用します。
上下ボタンは CH を送るこ
とができます。

外部入力ボタン

本機では使用できません。
誤ってボタンを押した場合は
もう１回押して元に戻して下
さい。

消音ボタン

本機では使用できません。

Ex2 ボタン

使用していません。

前チャンネルボタン

一つ前に聴いていたチャンネルに
戻れます。

メニューボタン

各種設定を行う為のメニュー
モードを表示させたり、消し
たりします。

チャンネルボタン

＋側を１回押すと＋チャン
ネルが一つ上がり、－側を押
すと一つ下がります。長押し
すると 10 ずつ変更すること
ができます。

スリープボタン

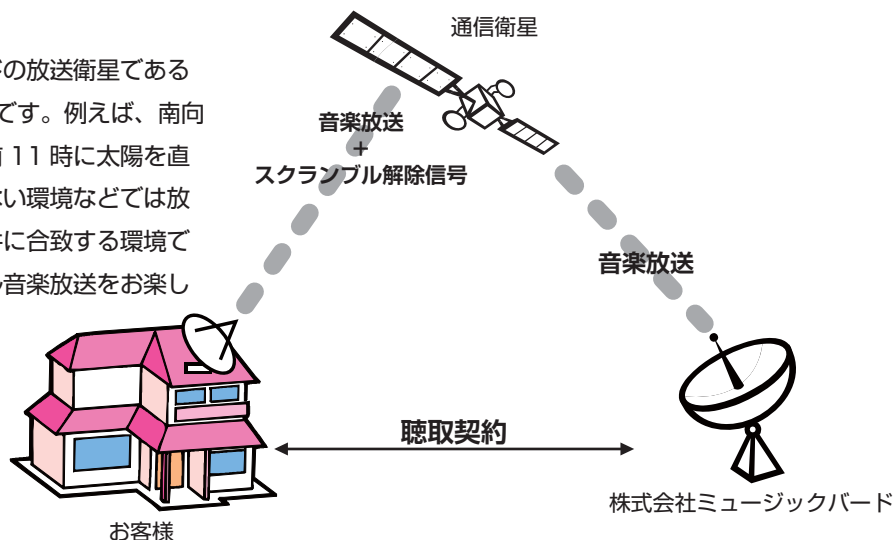
本機を聴取状態からスタンバ
イ状態へ移行する時間を設定
できます。ボタンを押す度に
OFF・30 分・60 分となり
ます。

使用するまでの準備―受信契約―

この製品を使用するにはまずミュージックバードとの契約が必要です。

ミュージックバードとは

ミュージックバードとは東京 FM コミュニケーションズグループ 株式会社ミュージックバードが放送している有料の衛星音楽放送です。

受信するには、ミュージックバードの放送衛星である JCSAT-2A を受信できる環境が必要です。例えば、南向きに高い建物が建っている場所や午前 11 時に太陽を直視できる場所にアンテナを設置できない環境などでは放送を受信することができません。条件に合致する環境であれば、日本全国で高音質なデジタル音楽放送をお楽しみ頂けます。

推奨アンテナとアンテナの設置について

ミュージックバードを受信するには専用の CS パラボラアンテナが必要です。

本機は局部発振周波数 11.3GHz, 11.2GHz, 11.116GHz のアンテナで垂直偏波が受信できるパラボラアンテナに対応しています。

弊社ではミュージックバード製パラボラアンテナ「DMB4503」を推奨しております。受信アンテナをお持ちでない場合は本機をお買い求めになった販売店までご相談ください。

アンテナの設置については 3.4 項を参照ください。

ミュージックバード
DMB4503

聴取契約について

本機を購入して、まだミュージックバードとの聴取契約をされていない方は次の窓口までお問合せの上、契約手続きを完了させてください。

なお、お問い合わせの際はチューナー ID とスマートカード ID が必要です。チューナー ID とスマートカード ID 番号はチューナー背面部に記載されています。

ご契約に関するお問い合わせは…

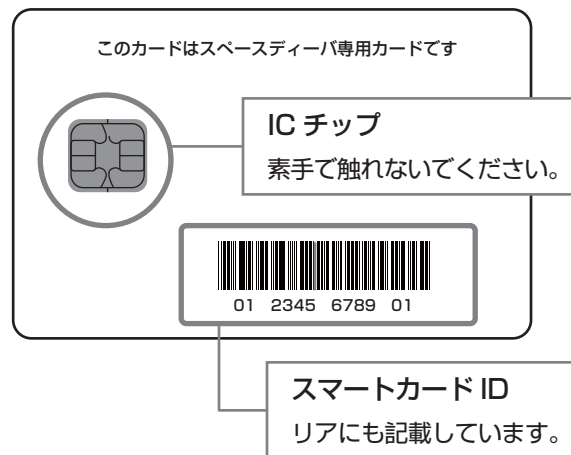
ミュージックバードカスタマーセンター　　TEL：03-3221-9000

受付時間　< 平 日 >10：00 ～ 19：00（12：00 ～ 13：00 を除く）
<土日祝日>10：00 ～ 18：00（12：00 ～ 13：00 を除く）

使用するまでの準備－スマートカード－

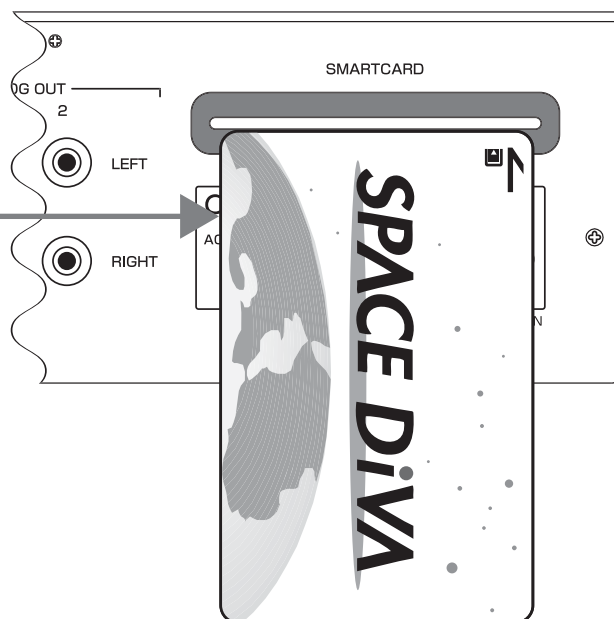
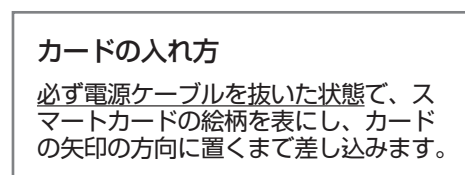
スマートカードは必ず本機にセットして使用します

スマートカードについて

　スマートカードはお客様の契約内容を一意に識別する大切なカードです。契約内容を一意に識別するためのコードをスマートカード ID といいます。スマートカード ID はカード裏面にバーコード共に印字されています。
　またこのスマートカードは本機のチューナー基板と組みで使用されることを前提とした情報が互いに書き込まれているため、他のチューナーで 1 枚のスマートカードを使い回すことはできません。
　スマートカードには IC チップが内蔵されています。この箇所には素手で触れないよう、ご注意ください。

スマートカードをセットする

　スマートカードは本機を AC コンセントに接続していない状態で左図の要領で本機に確実に挿入してください。

カードの入れ方

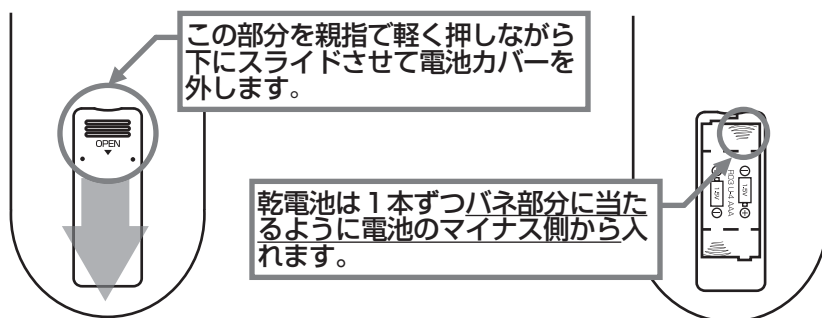
必ず電源ケーブルを抜いた状態で、スマートカードの絵柄を表にし、カードの矢印の方向に置くまで差し込みます。

チューナを識別する 2 つの番号　－チューナー ID とスマートカード ID－

本項に記載しているスマートカード ID のほかに、チューナー ID という番号があります。
チューナー ID 番号は SN から始まる、本機のシリアル番号です。

使用するまでの準備－リモコン－

添付のリモコンについてご使用前に知っておいて頂きたいことを説明します

リモコンに電池を入れる

初めて本機をご購入された場合は付属の単四乾電池をリモコンにセットする必要があります。

リモコンの電池は……

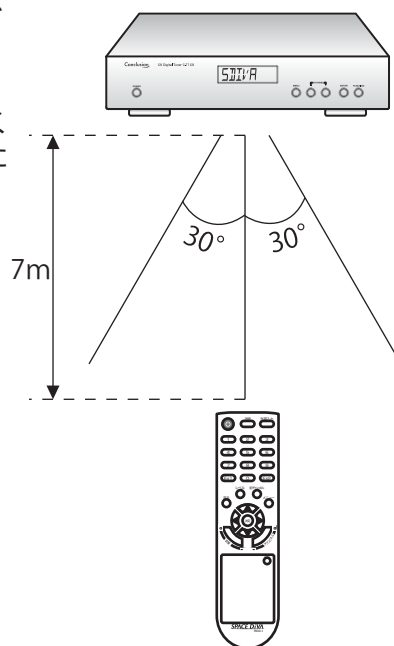
リモコンの電池を購入する際は、アルカリ電池よりもマンガン電池を推奨します。小さな電力を断続的に使用する電源の電池にはマンガン電池のほうがアルカリ電池よりも長持ちし、液漏れの恐れもありません。石油ストーブの電池やガスコンロの電池などもマンガン電池のご使用がお薦めです。

リモコンの有効範囲

リモコンは本機正面から 7m以内、角度は左右それぞれ 30゜以内の範囲で使用してください。

また、この範囲でご使用されていても、使用環境によっては到達距離が短くなったり、リモコンが効きにくくなったりする場合がありますので、次の点についてご留意ください。

・本機とリモコンの間に障害物を置かないこと
・本機の受光部やリモコン先端部にほこり等を付着させないこと
・本機正面に直射日光や蛍光灯の強い光を当てないこと

7m
30°
30°

リモコンの故障防止のために

リモコンの故障を防ぐために次のことに留意してご使用下さい。

・分解、改造をしないこと
・リモコンの上に重いものを載せないこと
・直射日光が当たるところに長時間放置しないこと
・リモコンに液体などをこぼさないこと

他社製のミュージックバード対応チューナーと本機を併設してご利用される方へ

付属のリモコンはミュージックバード対応チューナー全般に使用することができます。その為、複数台のミュージックバードチューナーを並べて設置されている場合は、１つのリモコンで行った操作がほかのチューナーにも適用されてしまいます。

この問題はチューナーユニットの仕様に基づくものであり、根本的な解決方法はありませんが、「複数台のチューナーの電源を同時に入れない」、「リモコン操作したくないチューナーでリモコン機能を無効にする設定をする」といったことで回避することができます。

後者の設定方法についてはそのチューナーの取扱説明書をご参照ください。本機において、リモコンの無効設定を行う場合は 5.2 項を参照してください。

リモコンの単品購入について

添付のリモコンは単品購入することが可能です。港北ネットワークサービス株式会社までお問い合わせください。

3.4 使用するまでの準備－アンテナを設置する－

以前からミュージックバードに契約されている方は 3.5 項に進んでください

0. 事前準備

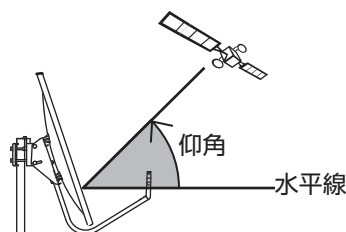
前項までの準備（スマートカードを挿入する、リモコンに電池を入れる）を終えていることを確認してください。

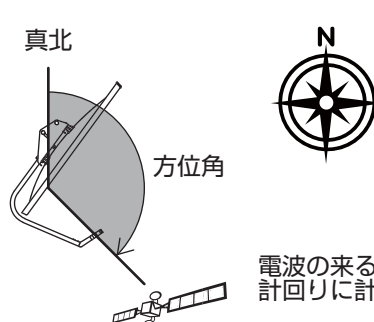
またアンテナはミュージックバード対応 CS アンテナをお使い下さい。推奨アンテナはミュージックバード DMB-4503 です。対応アンテナの御購入については本機をお買い求めの販売店までご相談下さい。

実際の設置作業に当たってはご使用されるアンテナの取扱説明書を良くお読みください。なおアンテナの設置作業がご自身で困難な場合は、有償の設置サービスをご利用頂くことも可能です。ご希望される場合は、ミュージックバードカスタマーセンターまでご依頼ください。

1. アンテナを設置する

市販のアンテナ取付金具などを用いてアンテナを正しい方向にアンテナの設置の際には仰角（ぎょうかく）と方位角、偏波面の傾き角の３つの角度を、お住まいの地域に合わせて調整する必要があります。各地域のそれぞれの角度の値は下記の表を参照してください。

●仰角

電波の来る方向を水平面から見上げたときの角度です。アンテナ面と傾きとは必ずしも一致しません。

●方位角

電波の来る方向を真北を基準に時計回りに計った角度です。

●偏波面の傾き角

方位磁石を使って方位を調整する時は・・・

方位磁石が示す北（磁北）は真北より少し西側にずれています。そのため、方位磁石を使って方位を求める時は、下記表の方位角の値に 6.5 度を足してください。

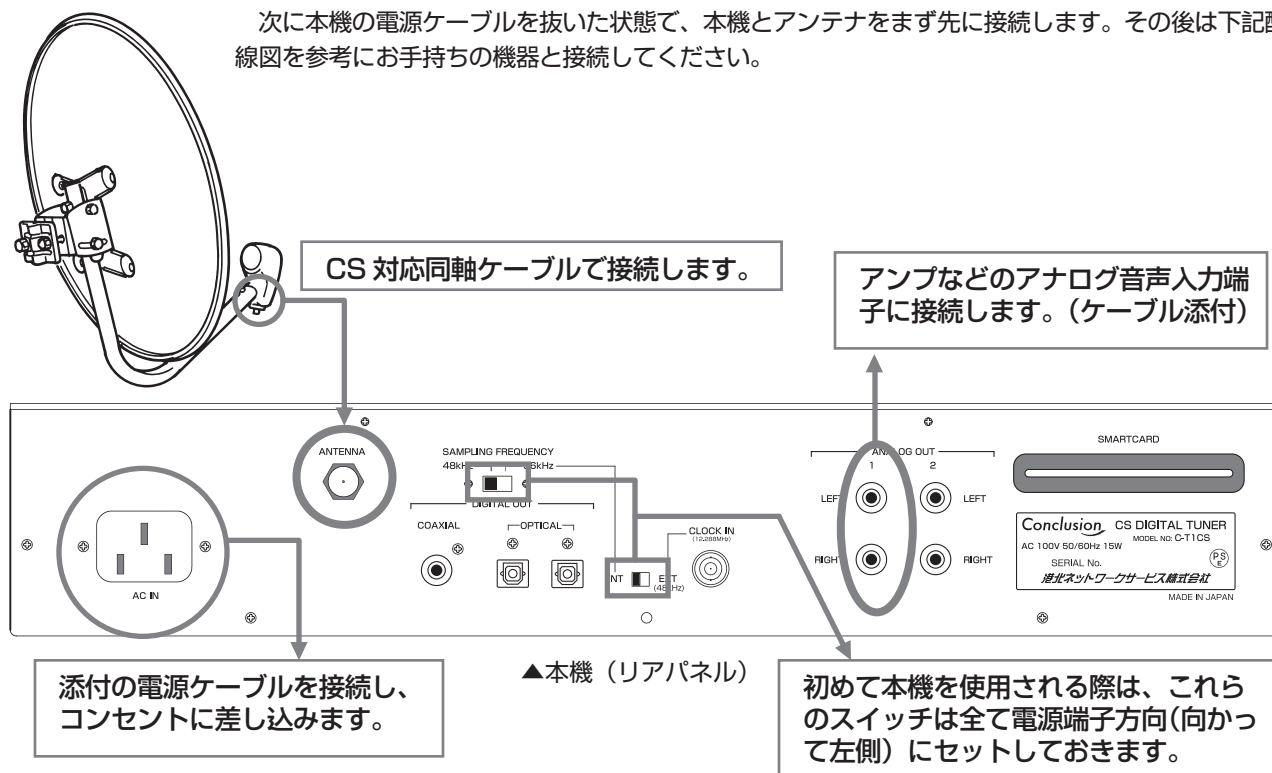
都市名	仰角	方位角	偏波面の傾き角	都市名	仰角	方位角	偏波面の傾き角	都市名	仰角	方位角	偏波面の傾き角	都市名	仰角	方位角	偏波面の傾き角
稚内	36	163	18	大宮	46	156	11	津	46	151	7	徳島	45	148	1
旭川	38	163	18	東京	46	157	11	大津	45	150	6	高知	45	145	2
札幌	39	162	17	千葉	46	157	12	京都	45	150	6	松山	45	146	2
函館	40	160	16	横浜	46	156	11	和歌山	45	149	5	福岡	43	142	1
青森	41	160	15	新潟	44	157	12	奈良	45	150	6	大分	45	143	0
盛岡	42	160	15	甲府	45	155	10	大阪	45	150	5	佐賀	44	141	-2
秋田	42	159	14	富山	44	153	9	神戸	45	149	5	長崎	44	140	-1
山形	43	159	13	金沢	44	152	8	鳥取	44	148	5	熊本	44	142	-1
仙台	44	159	14	福井	44	151	7	岡山	44	147	4	宮崎	46	142	-2
福島	44	159	13	岐阜	45	152	7	広島	44	145	2	鹿児島	45	140	-3
宇都宮	45	157	12	長野	45	154	10	山口	44	144	1	名瀬	47	136	-8
水戸	46	158	12	静岡	46	154	9	松江	43	147	3	那覇	48	132	-12
前橋	45	156	11	名古屋	45	152	7	高松	45	147	3	石垣	46	126	-18

※表記の値は真北からの角度です。

2. アンテナを本機に接続する

作業前に 3.2 項のスマートカードが本機に正しく挿入されていることを確認してください。

次に本機の電源ケーブルを抜いた状態で、本機とアンテナをまず先に接続します。その後は下記配線図を参考にお手持ちの機器と接続してください。

▲本機（リアパネル）

3. 初期設定をする

まだ、微調整をしていないので、受信できるレベルにアンテナの位置が合わさっていない場合がありますが、本機の初期設定を行い衛星を受信できるよう設定した状態でアンテナ方向の微調整を行う必要があります。まず 3.7 項に進んでください。

4. アンテナの微調整をする

初期設定を一通り終えたら、アンテナを調整して最も受信レベルが高い方向に合わせます。3.8 項に進んでください。

3.5 使用するまでの準備－旧チューナーと交換する－

旧チューナーと本機を併用する方は 3.6 項へ進んでください。

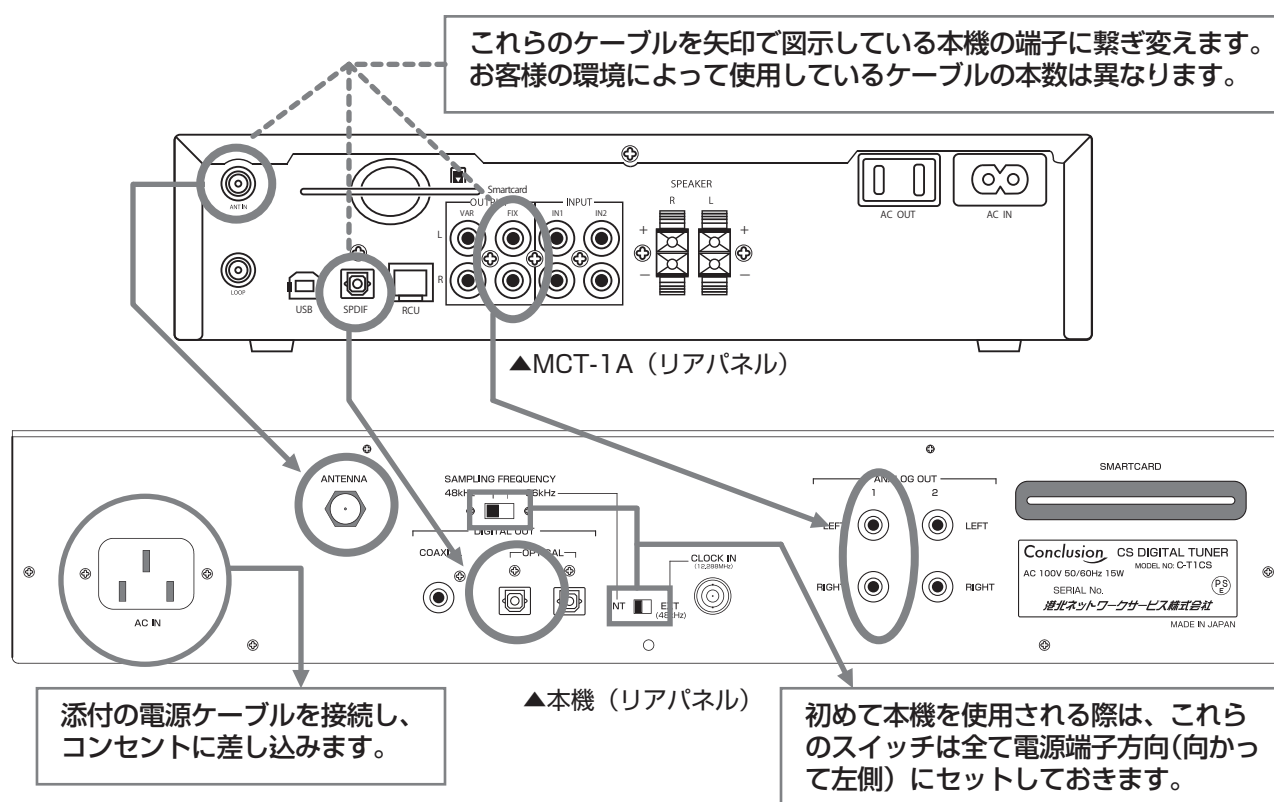
0. 事前準備

チューナーの交換作業を行う前に、前項までの準備（スマートカードを挿入する、リモコンに電池を入れる）を終えていることを確認してください。

次に、旧チューナーで十分なレベルでアンテナからの信号を受信できていること、また正常に放送が受信できており、音声信号がスピーカーより出力されていることを確認してください。

1-A.　MCT-1A を使用している場合　（CDT-1A 系をご使用の方は次項をお読みください）

MCT-1A の電源を切り、次の要領でケーブルを交換してください。

MCT-1A に接続されているケーブルで、下図において図示されていないものは取り外します。

⇒作業が終わりましたら、3.7 項に進んでください。

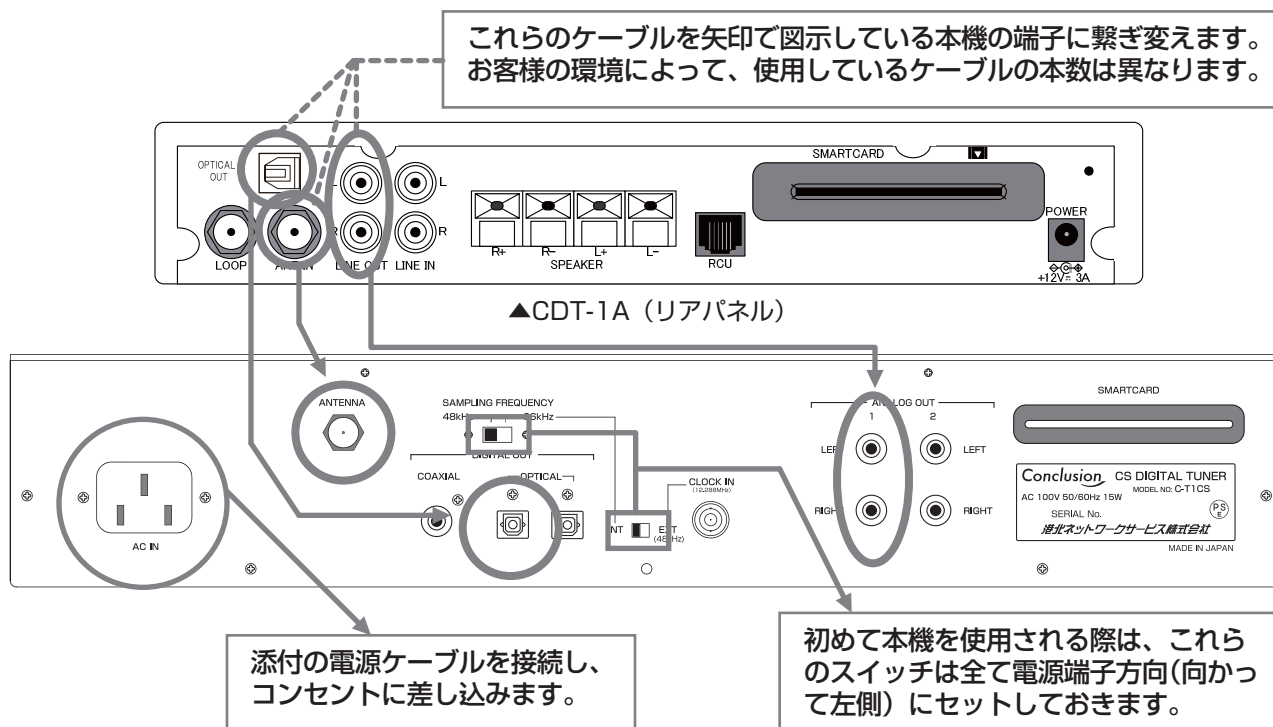
留意事項

- 本機には外部音声入力機能はありません。外部音声入力を引き続きご使用になられたい場合は、スピーカーを接続しているアンプなどの音声入力端子をご利用ください。
- 本機にはバリアブル（VAR）の音声出力端子はありません。したがって、本機だけでアナログ音声出力のボリュームを調整することはできません。接続先のアンプで調整ください。
- 本機にはスピーカー出力端子はありません。スピーカーを MCT-1A に接続してご利用されていた方は、市販のアンプをお買い求めください。
- 本機には AC 出力コンセントはありません。当該端子をご利用されていた方はコンセントの空きをご使用頂くか、市販のテーブルタップをご利用ください。
- MCT-1A にセットされていたスマートカードは必ずご使用されていた MCT-1A とペアにして保管してください。本機のスマートカードと入れ違いにならないようご注意ください。
- デジタル音声接続では本機と接続する機器によっては相性問題を生じる場合があります。
- 本機のデジタル音声出力はコピーワンス（１回のみ複製可）保護が適用されています。
- あなたが本機を利用して録音したものは、個人的に楽しむなどのほか、著作権者に対し無断で使用することは法律で禁じられています。

1-B.　CDT-1A 系を使用している場合　（MCT-1A をご使用の方は前項をお読みください）

CDT-1A, CDT-1AM, CDT-1AMD が対象です。ここでは総称して CDT-1A と表記します。挿絵は CDT-1AMD をベースに説明していますが、ほかのチューナーも光デジタル音声出力端子が無いだけで作業内容は変わりません。

では、CDT-1A の電源を切り、次の要領でケーブルを交換してください。

CDT-1A に接続されているケーブルで、下図において図示されていないものは取り外します。

⇒作業が終わりましたら、3.7 項に進んでください。

留意事項

- 本機には外部音声入力機能はありません。外部音声入力を引き続きご使用になられたい場合は、スピーカーを接続しているアンプなどの音声入力端子をご利用ください。
- 本機にはバリアブル（VAR）の音声出力端子はありません。したがって、本機だけでアナログ音声出力のボリュームを調整することはできません。接続先のアンプで調整ください。
- 本機にはスピーカー出力端子はありません。スピーカーを MCT-1A に接続してご利用されていた方は、市販のアンプをお買い求めください。
- CDT-1A にセットされていたスマートカードは必ずご使用されていた CDT-1A とペアにして保管してください。本機のスマートカードと入れ違いにならないようご注意ください。
- デジタル音声接続では本機と接続する機器によっては相性問題を生じる場合があります。
- 本機のデジタル音声出力はコピーワンス（１回のみ複製可）保護が適用されています。
- あなたが本機を利用して録音したものは、個人的に楽しむなどのほか、著作権者に対し無断で使用することは法律で禁じられています。

使用するまでの準備－旧チューナーと併設する－

旧チューナーと本機を並べて使用する際の接続について説明します

0. 事前準備

本機の設置作業を行う前に、前項までの準備（スマートカードを挿入する、リモコンに電池を入れる）を終えていることを確認してください。

次に、旧チューナーで十分なレベルでアンテナからの信号を受信できていること、また正常に放送が受信できており、音声信号がスピーカーより出力されていることを確認してください。

チューナーを複数台使用するときの聴取契約について

ミュージックバード対応チューナーを複数台使用する場合は、使用台数分の聴取契約が必要です。MCT-1A の曲目表示機能だけを利用したい場合でも、曲目情報はスクランブルを解除しないと表示できないので、聴取契約が必要になります。

２台目の聴取契約は１台目の聴取契約の半額になります。

詳しくはミュージックバードカスタマーセンター（03-3221-9000）までお問い合わせください。

1. アンテナケーブル、オーディオケーブルなどを接続する

現在設置されているチューナーの電源を切り、次の要領でケーブルを接続してください。（接続図は一例です。）

▲MCT-1A（リアパネル）

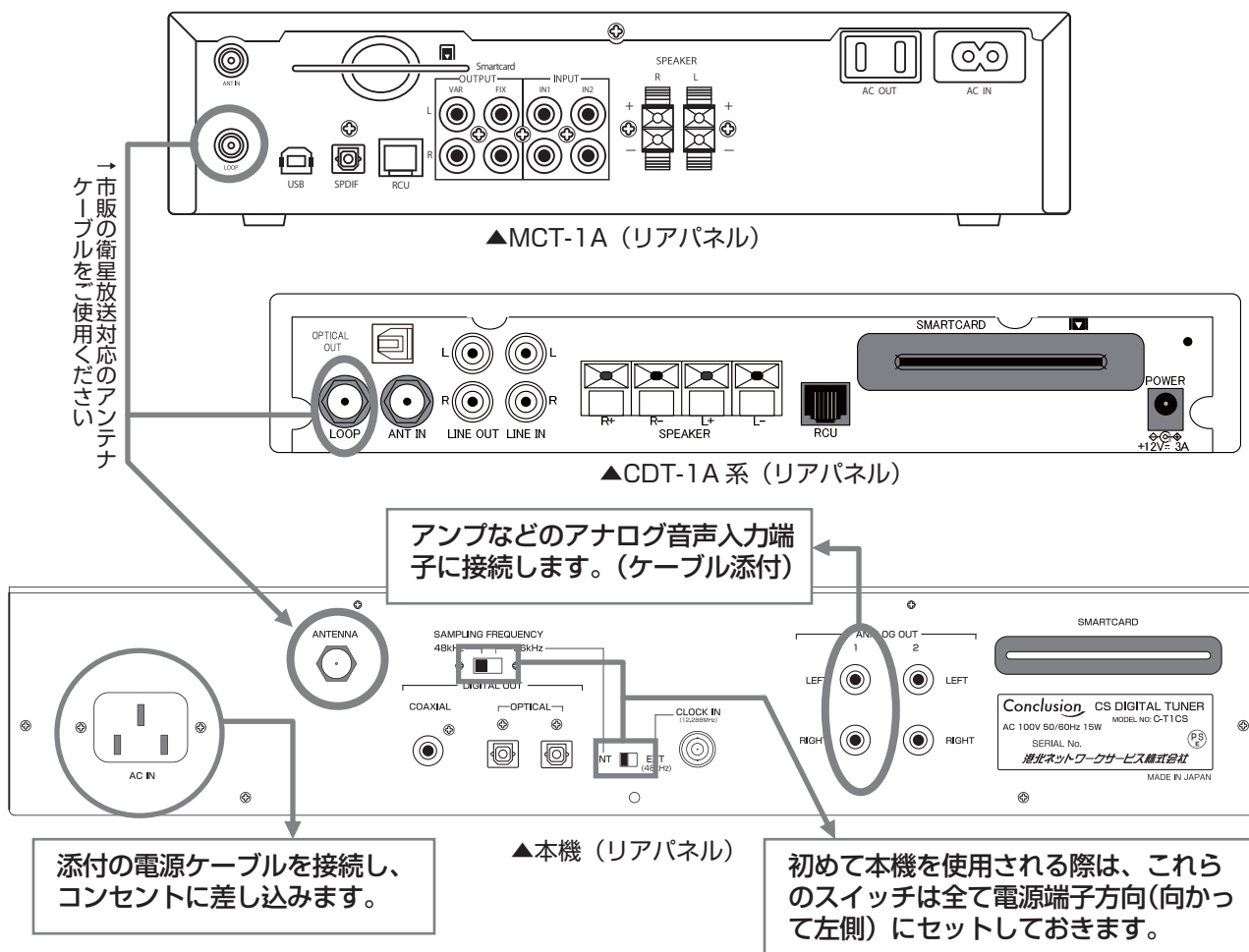
▲CDT-1A 系（リアパネル）

市販の衛星放送対応のアンテナケーブルをご使用ください→

アンプなどのアナログ音声入力端子に接続します。（ケーブル添付）

添付の電源ケーブルを接続し、コンセントに差し込みます。

▲本機（リアパネル）

初めて本機を使用される際は、これらのスイッチは全て電源端子方向（向かって左側）にセットしておきます。

2. 本機の初期設定を行う

本機の初期設定をして衛星を受信できるようにします。3.7 項の初期設定に進んでください。

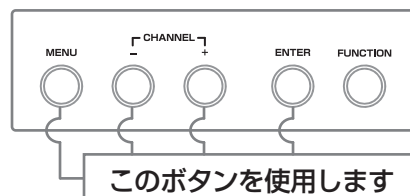
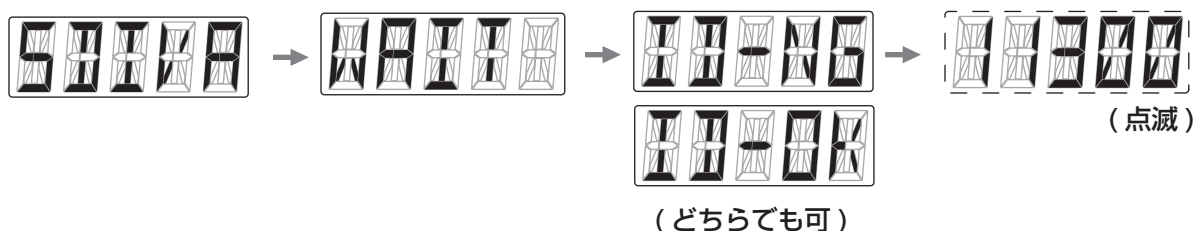
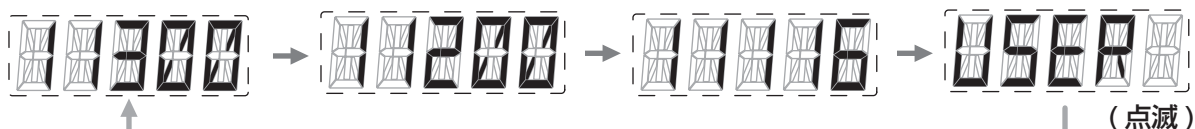
その際、アンテナコンバーター動作電源の供給設定を行いますが、上記のようにチューナーを併設して使用している場合、本機側は OFF にすることにご留意ください。

使用するまでの準備－初期設定をする－

お使いのアンテナに合わせた受信設定が必要です

0. 事前準備

前項までで、すべてのケーブルの接続を終えたら、本機をコンセントに接続してください。接続から約 15 秒経過したら、本機の POWER ボタンを押します。その後は下記手順に従い初期設定を行う必要があります。

ここでは、本機前面のボタンを操作して設定作業を進めます。主に使用するボタンは次の 4 つです。左から MENU ボタン、－（マイナス）ボタン、＋（プラス）ボタン、ENTER ボタンと表記します。

1．本機の POWER ボタンを押すと、ディスプレイが次のような表示に変わります。

2．点滅している値はアンテナの局部発振周波数を示しています。お使いのアンテナの取扱説明書などに記載の周波数に、本機の－（マイナス）ボタンと＋（プラス）ボタンで合わせます。これらのボタンを押すたびに表示が次のように変わります。

当社、推奨アンテナ DMB4503 は 11300 です。お使いのアンテナに周波数を表示させたら、ENTER ボタンを押します。ENTER ボタンを押すと点滅が停止します。

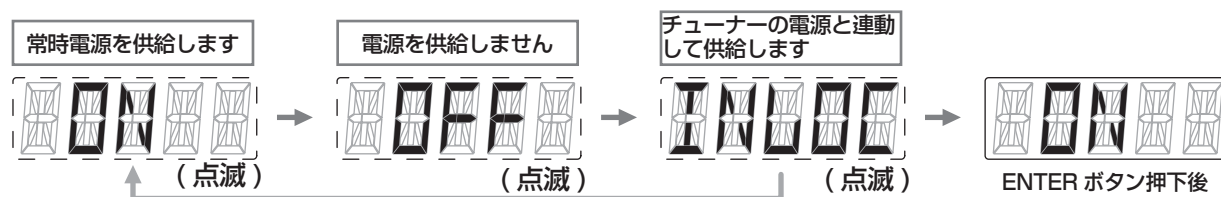
USER について

“USER” が点滅しているときに ENTER ボタンで決定すると、アンテナの局部発振周波数をリモコンの数字ボタン（0～9）で入力することができます。入力中は点滅表示になります。入力後、ENTER ボタンで確定します。

3. 次 に ENTER ボタンを押し、アンテナコンバーター動作電圧の設定に入ります。表示が下図のように変わります。－ボタンと＋ボタンを押し、動作させたい電圧を点滅させます。目的の電圧が点滅したら ENTER ボタンを押します。点滅が停止し、設定電圧のみの表示になります。DMB4503 をお使いの場合はどちらの電圧でも構いません。

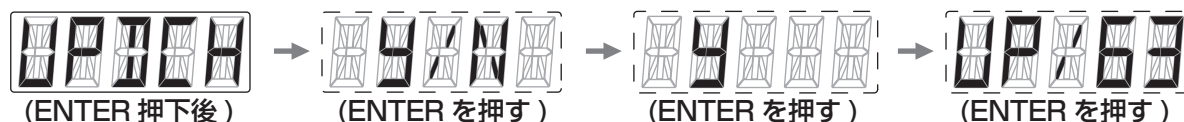
コンバーター動作電圧の設定について

アンテナコンバーター動作電圧はアンテナの取扱説明書に記載されています。2台のチューナーを１台のアンテナで使用するなどの場合、本機から電源を供給させたくない場合がありますが、電源供給の設定は次項で行いますので、ここでは仮に供給した場合の電圧で設定しておいてください。

4. コンバータ電源の供給設定をします。－ボタンと＋ボタンで３つの動作モードから使用環境に適合した設定を選び、ENTER ボタンで確定してください。確定すると点滅が点灯に変わります。１台のアンテナで１台のチューナーを使用する場合など、通常は ON に設定します。

5. ENTER ボタンを押すと衛星受信レベルの表示に変わります。ここで受信レベル 60 以上であることを確認します。次の場合はアンテナを微調整してください。微調整する方法については 3.8 項を参照してください。

・アンテナレベルが 60 に満たない場合
・OTHER と表示されている場合
・緑色の LED が点滅している場合

極端に低いか、または 0 の場合は、アンテナとの接続、設定した内容などをご確認ください。
レベル表示の左側は現在値、右側はピーク値を示しています。

6. 受信レベルが十分であることを確認したら、ENTER ボタンを押してください。番組情報更新を行います。Y/N と表示されるので、Y が点滅されている状態で ENTER ボタンを押します。Y だけの表示になりますので、さらに ENTER ボタンを押します。UP/＊＊という表示に変わり、更新が始まります。

7. CH200 を自動的に受信します。アンプの電源などを入れ、音声を確認します。音声が確認できたら、このままの状態でミュージックバードカスタマーセンター（03-3221-9000）にお電話をお掛け頂き、本機を設置・交換した旨をご連絡ください。その際、本機のチューナー ID とスマートカード ID が必要ですので、添付の保証書などでご確認頂いた上で、オペレーターにお伝えください。ミュージックバード側でスクランブル解除手続きを行います。

3.8 アンテナの微調整をする

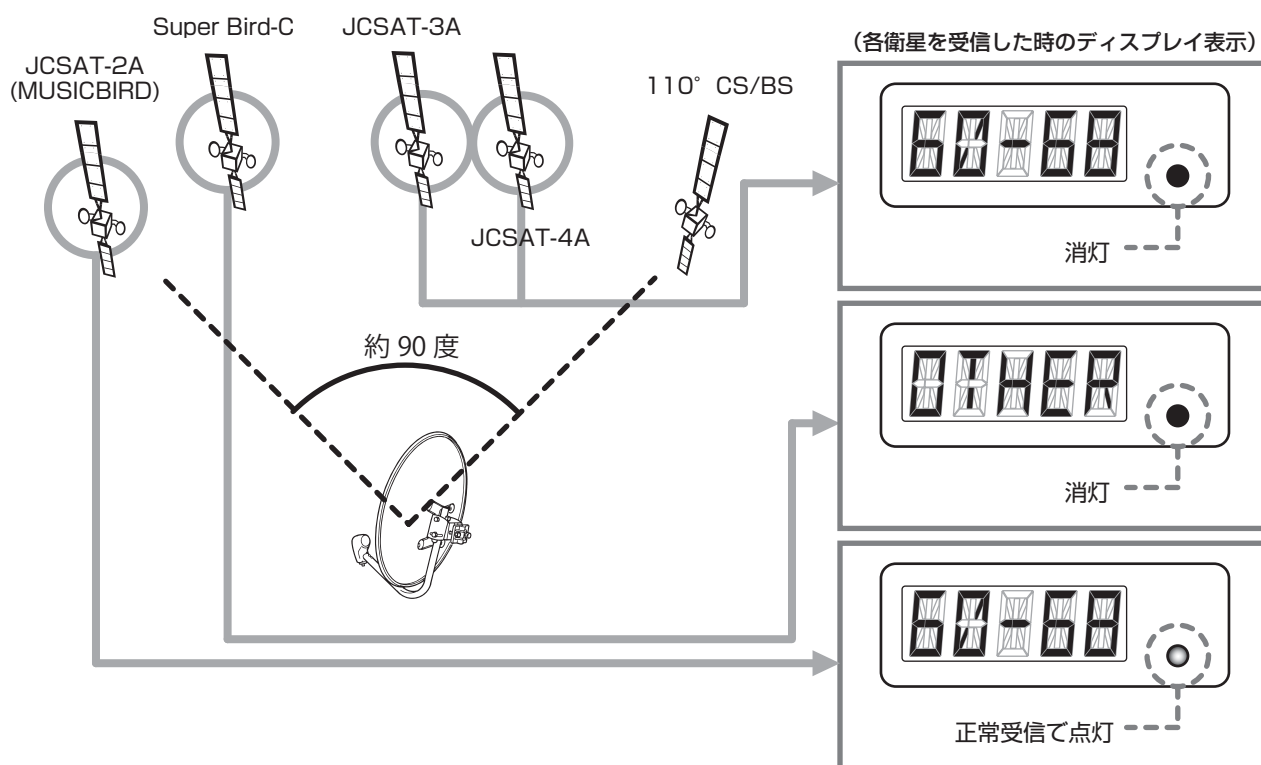
アンテナを初めて設置した際や台風などでアンテナがずれた場合、調整が必要です

0. 事前準備

本機のレベル表示機能を使って調整を行います。これまでの項を参照して、使用しているアンテナに合致した受信設定がされていることを確認し、レベル表示モードにしてアンテナを調整します。本機とアンテナの場所が離れている場合は、2名で調整作業を行うことをお薦めします。

1. まず偏波面の傾き角を合わせます。角度は 3.4 項の表を参照してください。

2. 次に仰角を合わせます。角度は 3.4 項の表を参照してください。

3. 最後に方位角を合わせます。ミュージックバードの放送衛星は、アンテナの裏面から見て、BS の放送衛星の 90 度左側に位置します。そのため、近隣の建物に設置されている BS アンテナの向きを参考にして、そこから 90 度左側に向けて下さい。そこから、ゆっくりゆっくり右側にずらしながら、受信レベルが最も高くなる位置に方位角を調整してください。本機はアンテナの動きに即座に反応し、受信レベルを表示させることができません。その為、方位角を調整する際は、1 度ずらしてはレベル表示が反応するまで少し待つなど、少しずつ慎重に調整してください。

4. だいたいの方角をつかめたら、最後に仰角と方位角を再度、微調整してみて、値が最も高くなる位置に合わせます。

5. 微調整が終わったらアンテナを固定するボルトをしっかりと締め付けてください。

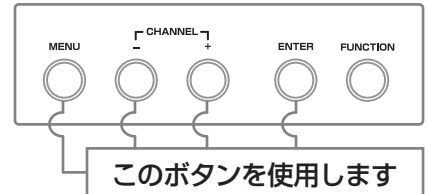
便利な機能を使う－タイマープレイ機能－

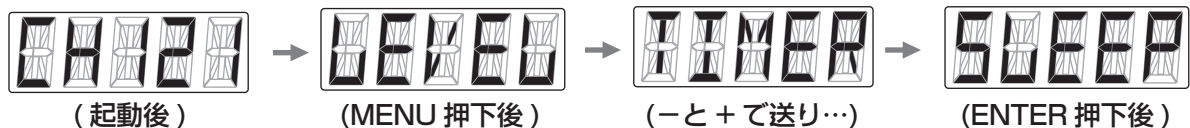
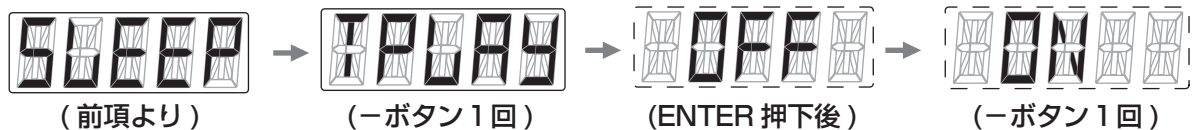
いつも聴きたい番組を自動で再生できます

タイマープレイについて

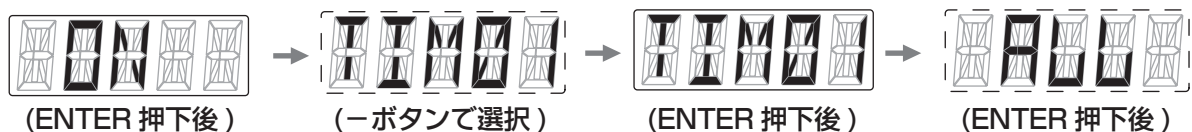
タイマープレイ機能とは、ご希望のチャンネル、開始時間または終了時間を本機に予め入力し設定することで自動的に本機を ON または OFF する機能です。

タイマープレイ設定は 16 パターン記憶させることができます。（開始と終了はそれぞれ 1 パターンとしますので、8 種類のスケジュール運転ができることになります。）

まずタイマープレイの設定方法についてご案内します。登録した内容の削除については本項後半に記しています。

1．本機の電源を入れ、MENU ボタンを 1 回押し、－ボタンと＋ボタンで TIMER という表示に切り換えます。
MENU ボタン押下後、－ボタンで送ると 2 回、＋ボタンで送ると 5 回押すと TIMER 表示になります。
TIMER 表示になったら ENTER ボタンを押します。

(起動後)　(MENU 押下後)　(－と＋で送り…)　(ENTER 押下後)

2.SLEEP と表示されている状態で、－ボタンか＋ボタンを 1 回押します。TPLAY という表示になりますので、ENTER ボタンを押します。もう 1 度－ボタンか＋ボタンを 1 回押し、ON 表示に変えます。OFF にすると、タイマープレイ機能が無効になります。

(前項より)　(－ボタン 1 回)　(ENTER 押下後)　(－ボタン 1 回)

3. 前項で ON 表示にしたら、ENTER ボタンを押します。すると、点滅から点灯に変わります。この状態で、さらに ENTER ボタンを 1 回押します。TIM01 という表示に変わります。－ボタンか＋ボタンを押すことで、TIM01 ～ TIM16 まで選ぶことができます。これは登録できるタイマーの管理番号を示しています。ここでは仮に TIM01 を選択します。TIM01 が表示されたら ENTER ボタンを 2 回押します。

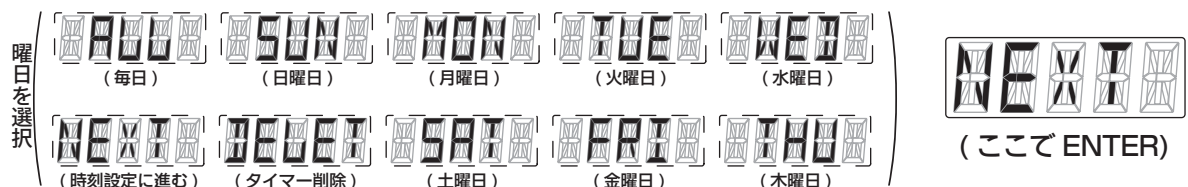
(ENTER 押下後)　(－ボタンで選択)　(ENTER 押下後)　(ENTER 押下後)

4.ALL と点滅表示している状態で、－ボタンと＋ボタンで設定したい曜日を表示させます。目的の曜日が表示されたら ENTER ボタンを押します。ENTER ボタンを押された曜日は、曜日の前に [＊] が表示されます。ALL を選択すると、全ての曜日に＊がつきます。選択が終了したら、－ボタンか＋ボタンで NEXT が表示されるまで送ります。表示されたら ENTER ボタンを押し、次の時刻設定に進みます。（曜日選択をしないと次に進むことはできません。）

(毎日)　(日曜日)　(月曜日)　(火曜日)　(水曜日)
(時刻設定に進む)　(タイマー削除)　(土曜日)　(金曜日)　(木曜日)

(ここで ENTER)

5. 前項で NEXT から ENTER ボタンを押すと、時刻設定に入ります。ここでは8時 30 分から 12 時ちょうどまでタイマープレイを設定すると仮定します。ここでは終了時間から設定します。現在の表示は現在時刻になっていますので、－ボタンか＋ボタンで　12　となるまで送り、ENTER ボタンで確定させせます。続いて、－ボタンか＋ボタンで　00　となるまで送り、ENTER ボタンで確定させせます。

(現在時刻)　(時間から設定)　(分数を設定)　(ENTER 押下後)

6. 前項で ENTER ボタンを押すと、START と点滅表示されるので－ボタンか＋ボタンを押し、STOP 表示に変え、ENTER ボタンを押します。更に ENTER ボタンをもう 1 回押すと表示が TIM01 に変わります。ここまでで、TIM01 には 12 時に本機の動作を停止させることを記憶させたので、TIM02 に対して 8 時に起動させることを登録することにします。－ボタンか＋ボタンを押し、TIM02 を表示させ、ENTER ボタンで確定します。

(－ボタン押下後)　(ENTER2回)　(+ ボタンを押し…)　(ENTER を押す)

7. 更に ENTER ボタンをもう 1 回押すと、ALL と点滅表示します。再度曜日設定を行いますが、ここでは「4」で TIM01 に対して行った曜日設定と同じ設定をしてください。－ボタンと＋ボタンで設定したい曜日を表示させ、ENTER ボタンを押します。ENTER ボタンを押された曜日は、曜日の前に [＊] が表示されます。ALL を選択すると、全ての曜日に＊がつきます。選択が終了したら、－ボタンか＋ボタンで NEXT が表示されるまで送ります。表示されたら ENTER ボタンを押し、次の時刻設定に進みます。（曜日選択をしないと次に進むことはできません。）

(ここで ENTER)

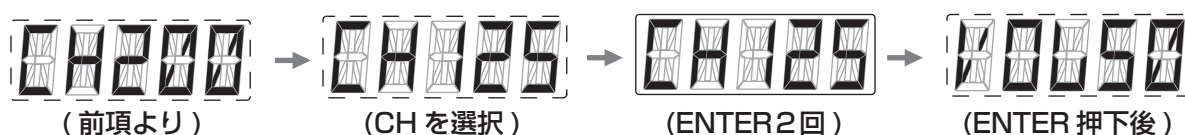
8. 前項で NEXT から ENTER ボタンを押すと、時刻設定に入ります。ここでは8時 30 分から 12 時ちょうどまでタイマープレイを設定すると仮定しました。ここまでで、終了時間までの設定を終えていますから、開始時間を設定します。現在の表示は現在時刻になっていますので、－ボタンか＋ボタンで　08　となるまで送り、ENTER ボタンで確定させせます。続いて、－ボタンか＋ボタンで　30　となるまで送り、ENTER ボタンで確定させせます。

(現在時刻)　(時間から設定)　(分数を設定)　(ENTER 押下後)

9. 続けて ENTER ボタンをもう 1 回押し、SAT と点滅表示させせます。この状態でもう 1 度 ENTER ボタンを押します。点滅が止まりますので、さらに 1 回 ENTER ボタンを押します。

(－ボタンを押し…)　(ENTER 押下後)　(ここで ENTER)　(更に ENTER)

10. 前項の操作で表示はチャンネル番号になっています。ここでーボタンか＋ボタンを押し、目的のチャンネル番号に変更してください。チャンネル変更後、ENTER ボタンを 2 回押して確定します。

(前項より)　(CH を選択)　(ENTER2回)　(ENTER 押下後)

11. 続いてボリューム設定の表示になります。本機では無効ですので、そのまま ENTER ボタンを2回押します。表示が TIM01 に戻ります。これで設定を終わりですので MENU ボタンを押します。なお、タイマープレイが適用されているチャンネルには T という表示が付くようになります。

(ENTER を押す)　(ここで MENU)　(通常状態)

タイマープレイ設定を全て削除するには…

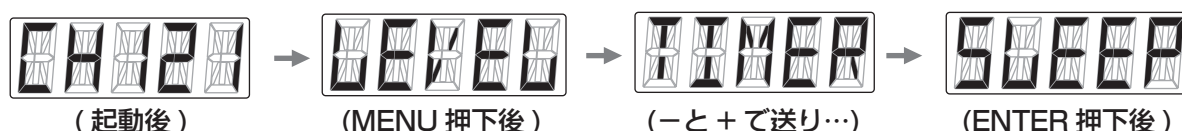
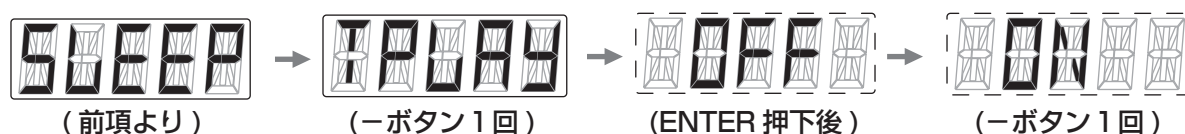
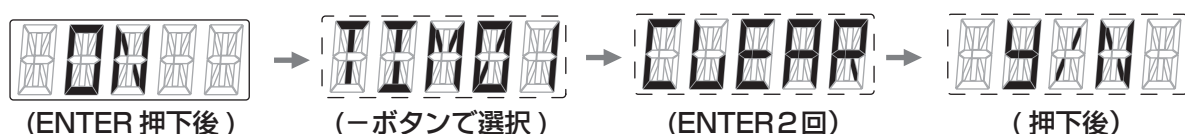
TIM01 〜 TIM16 に設定されたタイマープレイを全て削除する手順についてご案内します。TIM＊＊に対して個別に削除することもできます。個別削除の方法は次項にてご案内しております。

タイマープレイ設定を全て削除すると元に戻すことはできません。もし、一時的にタイマープレイを使用したくない場合は前項「タイマープレイについて」の手順 2 においてタイマープレイを無効にしてください。設定内容は保持されたままタイマープレイ機能を OFF にできます。

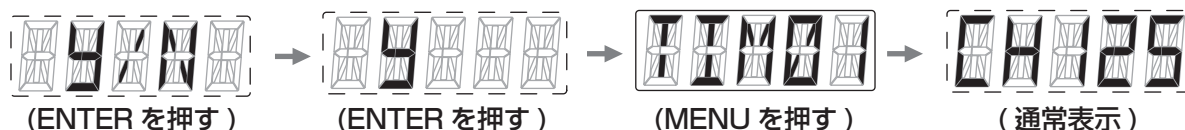
1. 本機の電源を入れ、MENU ボタンを１回押し、ーボタンと＋ボタンで TIMER という表示に切り換えます。MENU ボタン押下後、ーボタンで送ると2回、＋ボタンで送ると 5 回押すと TIMER 表示になります。TIMER 表示になったら ENTER ボタンを押します。

(起動後)　(MENU 押下後)　(ーと＋で送り…)　(ENTER 押下後)

2.SLEEP と表示されている状態で、ーボタンか＋ボタンを１回押します。TPLAY という表示になりますので、ENTER ボタンを押します。もう１度ーボタンか＋ボタンを１回押し、ON 表示に変えます。

(前項より)　(ーボタン１回)　(ENTER 押下後)　(ーボタン１回)

3. 前項で ON 表示にしたら、ENTER ボタンを押します。すると、点滅から点灯に変わります。この状態で、さらに ENTER ボタンを１回押すと、TIM01 という表示に変わります。ーボタンか＋ボタンを何度か押し、表示が CLEAR になるまで送ります。CLEAR が表示されたら ENETR ボタンを 2 回押します。すると、Y/N の表示になります。

(ENTER 押下後)　(ーボタンで選択)　(ENTER2回)　(押下後)

4. 前項の操作で表示は Y/N の表示になっています。Y が点滅している状態で ENTER ボタンを押します。
Y だけの表示になりますので更に ENTER ボタンを押します。これで削除されました。MENU ボタンを押し、通常表示に戻します。

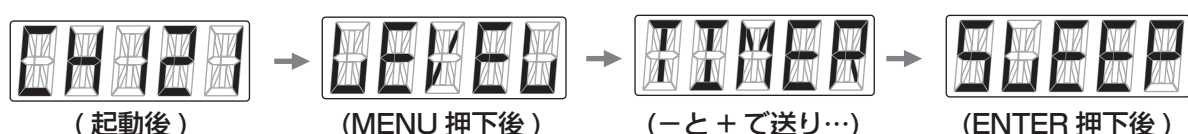
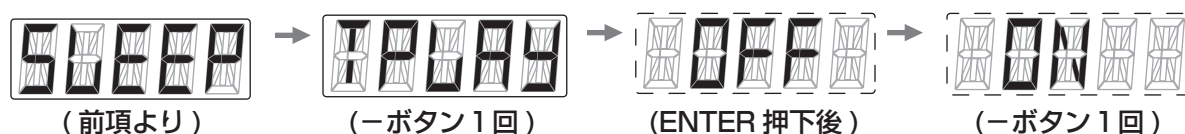
(ENTER を押す)　(ENTER を押す)　(MENU を押す)　(通常表示)

タイマープレイ設定を個別に削除するには…

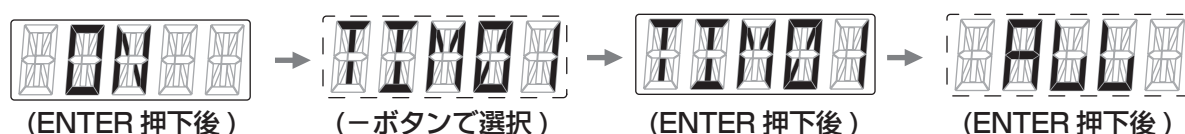
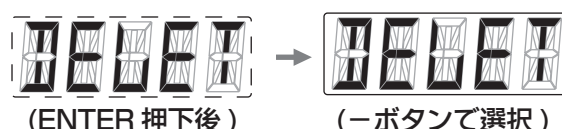
TIM01 ～ TIM16 に設定されたタイマープレイを個別に削除する手順についてご案内します。

1. 本機の電源を入れ、MENU ボタンを 1 回押し、－ボタンと＋ボタンで TIMER という表示に切り換えます。
MENU ボタン押下後、－ボタンで送ると 2 回、＋ボタンで送ると 5 回押すと TIMER 表示になります。
TIMER 表示になったら ENTER ボタンを押します。

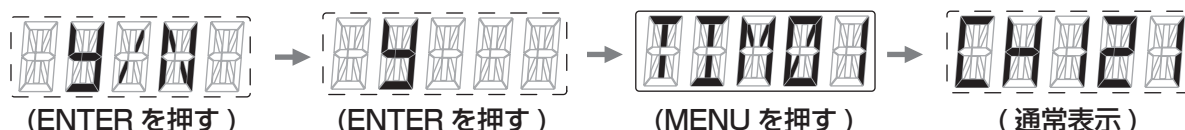
(起動後)　(MENU 押下後)　(－と＋で送り…)　(ENTER 押下後)

2.SLEEP と表示されている状態で、－ボタンか＋ボタンを 1 回押します。TPLAY という表示になりますので、ENTER ボタンを押します。もう 1 度－ボタンか＋ボタンを 1 回押し、ON 表示に変えます。

(前項より)　(－ボタン 1 回)　(ENTER 押下後)　(－ボタン 1 回)

3. 前項で ON 表示にしたら、ENTER ボタンを押します。すると、点滅から点灯に変わります。この状態で、さらに ENTER ボタンを 1 回押します。TIM01 という表示に変わります。－ボタンか＋ボタンを押すことで、TIM01 ～ TIM16 まで選ぶことができます。ここで、個別に削除したい TIM 番号を選択してください。ここでは仮に TIM01 を選択します。TIM01 が表示されたら ENTER ボタンを 2 回押します。

(ENTER 押下後)　(－ボタンで選択)　(ENTER 押下後)　(ENTER 押下後)

4.ALL と点滅表示している状態で、－ボタンか＋ボタンを何度か押し、DELET が表示されたら ENTER ボタンを押します。

(ENTER 押下後)　(－ボタンで選択)

5. 前項の操作で表示は Y/N の表示になっています。Y が点滅している状態で ENTER ボタンを押します。Y だけの表示になりますので更に ENTER ボタンを押します。これで削除されました。MENU ボタンを押し、通常表示に戻します。

(ENTER を押す)　(ENTER を押す)　(MENU を押す)　(通常表示)

便利な機能を使う－スリープタイマー機能－

おやすみ前の BGM として本機を使用する際、便利な機能です

スリープタイマー機能について

スリープタイマー機能とは、本機を聴いている状態で、あと何分後に電源を落とすかを設定できる機能です。設定時間は 30 分、60 分のいずれかです。本体前面のボタンでも設定できますが、スリープタイマーはリモコンのほうが簡単に設定できるので、ここではリモコンによる設定方法についてご案内します。

1. 本機の電源を入れ、任意のチャンネルを受信している状態にします。そこで、リモコンのスリープボタンを押します。このボタンを何度か押すと、表示が次のように変わっていきます。

2. 30 分か 60 分かスリープ設定したい時間表示でリモコンの決定ボタンを押します。すると、チャンネル表示に S が付きます。これでスリープ設定は完了です。

CH125 → 30M → S 125

（通常表示）　（スリープ２回）　（決定押下後）

スリープタイマーを解除する

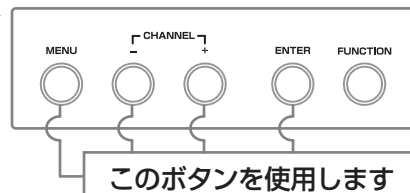
設定されたスリープタイマーを解除するには次の操作を行います。

リモコンのスリープボタンを１回押します。OFF が表示されたら、リモコンの決定ボタンを押します。チャンネル表示の S が消えます。これでスリープは解除されました。

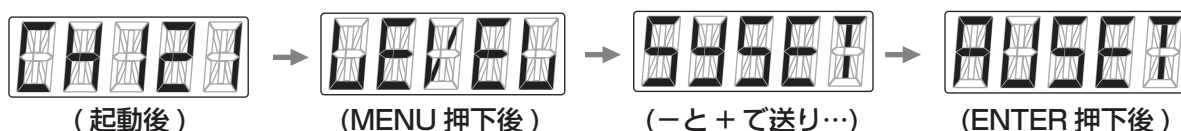
その他の設定をする－表示の明るさを調整する－

フロントの LED ディスプレイは明るさを３段階に調整できます

明るさ調整について

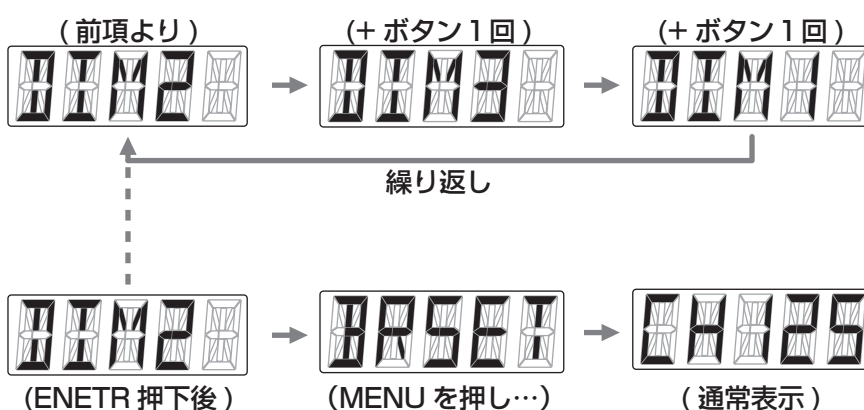
　フロントパネルの LED ディスプレイは部屋の照度により、明るく感じたり、暗く感じたりする場合があります。そうした場合は、LED ディスプレイの明るさを３段階に調整できます。工場出荷時は３段階の中央値になっています。

1. 本機の電源を入れ、MENU ボタンを１回押し、−ボタンと＋ボタンで SYSET という表示に切り換えます。MENU ボタン押下後、−ボタンで送ると４回、＋ボタンで送ると３回押すと SYSET 表示になります。SYSET 表示になったら ENTER ボタンを押します。

CH121 → LEVEL → SYSET → AUSET

(起動後)　(MENU 押下後)　(−と＋で送り…)　(ENTER 押下後)

2.AUSET と表示されている状態で、＋ボタンを１回押します。BRSET という表示になりますので、ENTER ボタンを押します。

AUSET → BRSET → DIM2

(前項より)　(+ ボタン１回)　(ENTER 押下後)

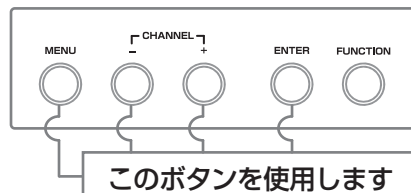
3.−ボタンか＋ボタンを押し、DIM１から DIM３まで、お好みの明るさに変更します。−ボタンか＋ボタンで明るさを変更すると、次のように表示が変わり、明るさも応じて変わっていきます。お好みの明るさのところで Enter ボタンを押します。MENU ボタンを押し、チャンネル表示に戻ります。

その他の設定をする－リモコンを無効にする－

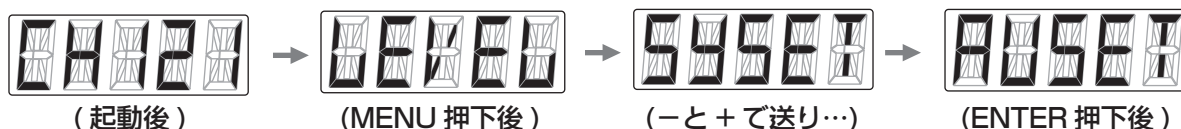
本機のリモコン機能を無効にできます

リモコンの無効設定について

ミュージックバード対応チューナーのリモコンは一部の機能を除き、全機種共通で使えます。その為、複数台のミュージックバード対応チューナーを設置していると、意図しないチューナーがリモコン操作に反応することがあります。

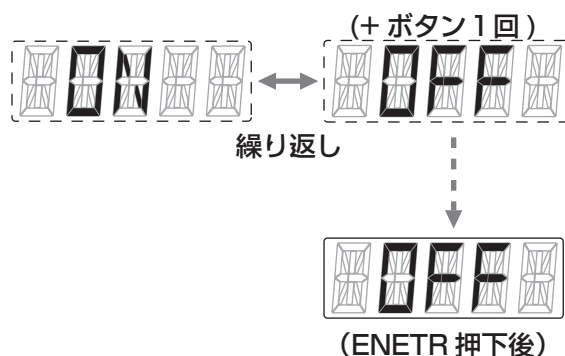
その場合、本機のリモコン機能を無効にするか、意図しないほうのチューナーのリモコン機能を無効にすることで、目的チューナーのみ、リモコンを機能させることができます。

本機においてリモコンの無効設定をする場合は次の手順で設定します。

1．本機の電源を入れ、MENU ボタンを１回押し、－ボタンと＋ボタンで SYSET という表示に変えます。MENU ボタン押下後、－ボタンで送ると４回、＋ボタンで送ると３回押すと SYSET 表示になります。SYSET 表示になったら ENTER ボタンを押します。

（起動後）　(MENU 押下後）　(－と＋で送り…）　(ENTER 押下後）

2.AUSET と表示されている状態で、－ボタンを１回押します。RCU という表示になりますので、ENTER ボタンを押します。

（前項より）　(＋ボタン１回）　(ENTER 押下後）

3.ON と表示されますので、－ボタンか＋ボタンを１回押し、OFF 表示に変えます。（リモコン無効設定の状態から有効にしたいときはここで ON にしてください。）OFF 表示になったら ENTER を押します。

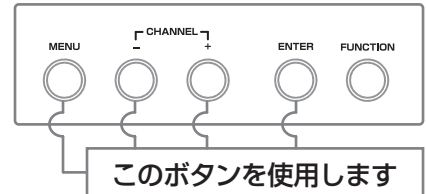
(ENETR 押下後）

4. さらに ENTER ボタンを押し、設定を確定させせます。表示が RCU に戻りますから、MENU ボタンを１回押し、チャンネル表示に戻します。これで設定は完了です。

(ENTER を押し…）　（ここで MENU)　（通常表示）

その他の設定をする−スタート CH を設定する−

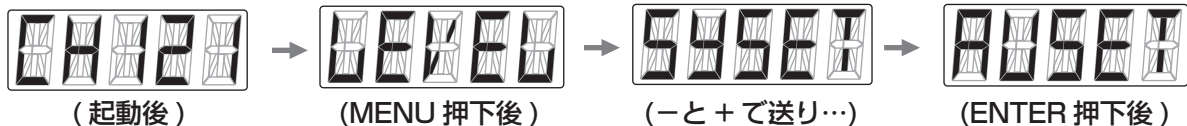
本機を起動したとき、いつも特定のチャンネルを受信するように設定します

スタートチャンネルの設定について

本機の電源を ON にしたときに､特定のチャンネルを受信するよう設定できます。工場出荷時は前回電源を切ったときのチャンネル（ラストチャンネル）になっています。リスニングスタイルに応じて変更してください。

1. 本機の電源を入れ、MENU ボタンを 1 回押し､−ボタンと + ボタンで SYSET という表示に変えます。
   MENU ボタン押下後､−ボタンで送ると 4 回、+ ボタンで送ると 3 回押すと SYSET 表示になります。
   SYSET 表示になったら ENTER ボタンを押します。

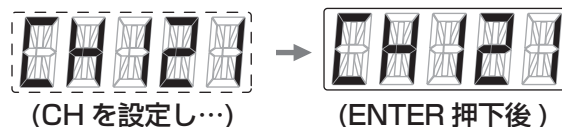
(起動後)　(MENU 押下後)　(−と + で送り…)　(ENTER 押下後)

2.AUSET と表示されている状態で､−ボタンを 2 回押します。SETCH という表示になりますので、ENTER ボタンを押します。

(前項より)　(−ボタン 2 回)　(ENTER 押下後)

3.LASCH と表示されますので､−ボタンか + ボタンを 1 回押し、STACH 表示に変え、ENTER を押します。

(前項より)　(+ ボタン 1 回)　(ENTER 押下後)

4.−ボタンか + ボタンでスタートチャンネルに設定したいチャンネルに合わせます。合わせたいチャンネルに設定したら ENTER ボタンを押します。

(CH を設定し…)　(ENTER 押下後)

5. さらに ENTER ボタンを押し、設定を確定させます。表示が RCU に戻りますから、MENU ボタンを 1 回押し、チャンネル表示に戻します。これで設定は完了です。

(ENETR を押し…)　(ここで MENU)　(通常表示)

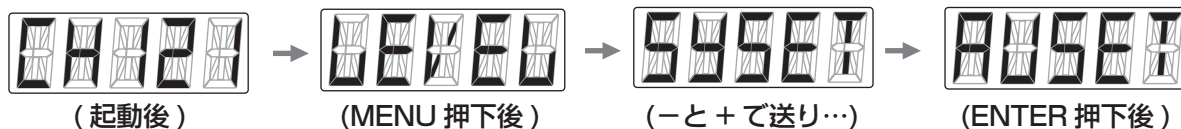
ラストチャンネルに設定する（元に戻す）

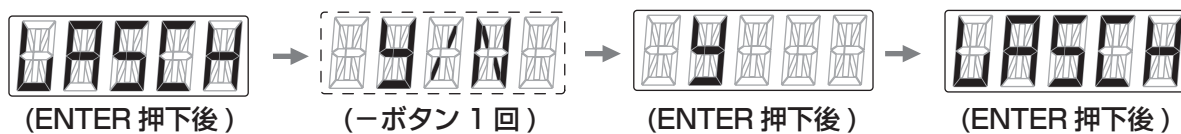
スタートチャンネルの設定を工場出荷時の設定（ラストチャンネル）に戻したい場合は、次の手順で設定してください。

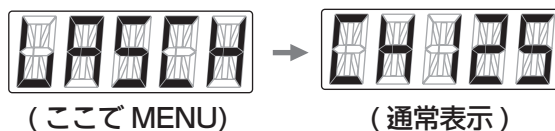
1. 本機の電源を入れ、MENU ボタンを１回押し、－ボタンと＋ボタンで SYSET という表示に変えます。
MENU ボタン押下後、－ボタンで送ると４回、＋ボタンで送ると３回押すと SYSET 表示になります。
SYSET 表示になったら ENTER ボタンを押します。

(起動後)　(MENU 押下後)　(－と＋で送り…)　(ENTER 押下後)

2.AUSET と表示されている状態で、－ボタンを２回押します。SETCH という表示になりますので、ENTER ボタンを押します。

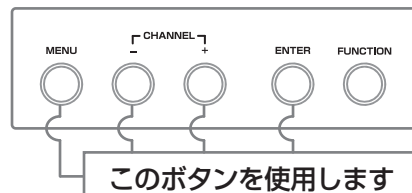
(前項より)　(－ボタン２回)　(ENTER 押下後)

3.LASCH と表示されますので、ENTER を押します。表示が Y/N になりますので、－ボタンか＋ボタンを１回押し、Y を点滅状態にさせ、ENTER を押します。Y だけの表示に変わりますのでさらに ENTER を押します。

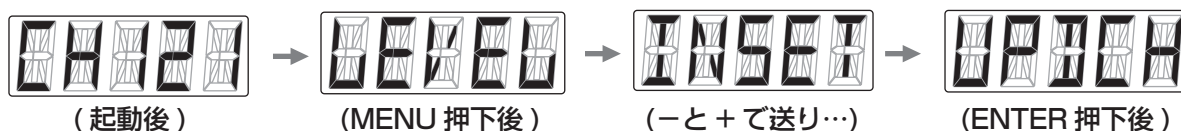
(ENTER 押下後)　(－ボタン１回)　(ENTER 押下後)　(ENTER 押下後)

4. 表示が RCU に戻りますから、MENU ボタンを１回押し、チャンネル表示に戻します。これで設定は完了です。

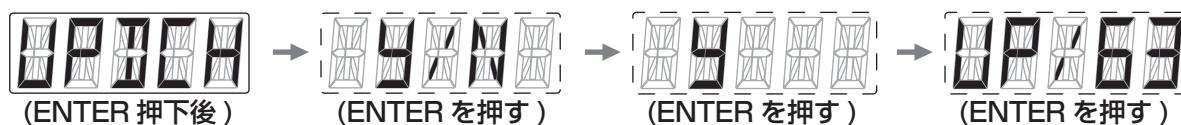
(ここで MENU)　(通常表示)

その他の設定をする－番組情報を更新する－

必要な場合のみに実施します

番組情報の更新について

チャンネル表示にならない時など、番組情報の更新が必要な場合があります。
番組情報を更新する場合は次の手順で行います。

1. 本機の電源を入れ、MENU ボタンを 1 回押し、－ボタンと＋ボタンで INSET という表示に変えます。
MENU ボタン押下後、－ボタンで送ると 5 回、＋ボタンで送ると 2 回押すと INSET 表示になります。
INSET 表示になったら ENTER ボタンを押します。

(起動後)　(MENU 押下後)　(－と＋で送り…)　(ENTER 押下後)

2. UPDCH と表示されている状態で、ENTER ボタンを押します。続いて Y/N の表示になり、Y が点滅されている状態で、ENTER ボタンを押します。すると、表示が Y だけになりますので、ここでさらにもう 1 度 ENTER ボタンを押します。押下後、更新が始まります。

(ENTER 押下後)　(ENTER を押す)　(ENTER を押す)　(ENTER を押す)

3. 更新処理が完了すると、自動的に CH200 を受信します。これで作業は完了です。

内部動作モードを変更する

48kHz か 96kHz か、よりお好みの音質をご選択ください

内部動作サンプリング周波数の変更について

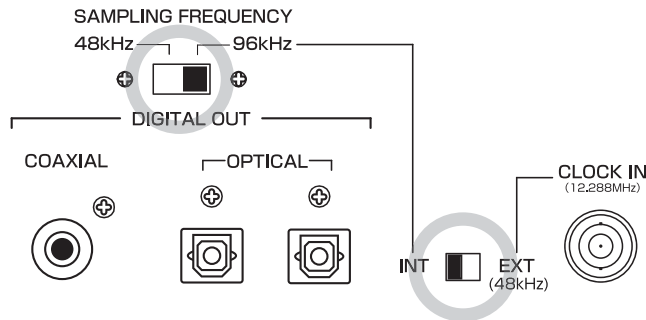
本書では内部動作サンプリング周波数の変更を行うことを便宜上、内部動作モードの変更と表記しています。

内部動作モードは 48kHz と 96kHz のいずれかを選択できます。この周波数は、衛星から受信されたデジタルデータに含まれるデジタル音声信号をオーディオアンプに受け渡せるようなアナログ音声信号に変換する過程において基準となるものです。

したがって、この内部動作モードを変更すると、本機のデジタル音声出力部もアナログ出力部も変更が適用されます。

工場出荷時は 48kHz に設定されています。実際に変更してみて、より音が良いと感じる設定をご利用ください。

1. リアパネルのスイッチを切り換える

必ず本機の電源を切り、リアパネルのスライドスイッチ（2箇所）を下図のように切り換えてください。
本機の電源を入れた状態で変更しても反映されません。一度電源をお切りください。

▲本機のリアパネル部（拡大）

2. 本機の電源を入れる

本機の電源を入れ、これまで通りご使用ください。

デジタル接続で内部動作モードを変更したら音が出なくなったり、録音できなくなったりした時は…

デジタル音声入力がある機器の中には 96kHz のデジタル音声信号を受けることができないものが数多くあります。お使いの機器の仕様をご確認ください。

アナログ接続で聴いてみよう

アナログ音声出力だと音質が悪く、デジタル音声出力だと高音質だとお考えではありませんか？

ミュージックバードの衛星から送られてくる音声信号はデジタルデータです。またスピーカーを鳴らすアンプには必ずアナログ音声を入力しなければなりません。（デジタル入力ができるアンプは、内部にデジタル音声信号をアナログ音声信号に変換できる回路を搭載しています。）

つまり、デジタルデータを如何に高音質なアナログ音声に変換するかが、音の良し悪しに影響してきます。この回路を一般に DAC（Digital to Analog Converter）と呼びます。

本機には高音質な DAC を搭載しています。もし、本機のデジタル音声出力のみをご使用でしたら、一度アナログ音声出力も 48kHz モード、96kHz モード共にぜひお試しください。

外部クロック信号入力機能を使用する

クロックジェネレーターをお持ちの場合、本機と接続することができます

本機とクロックジェネレーターを接続する場合の制限事項について

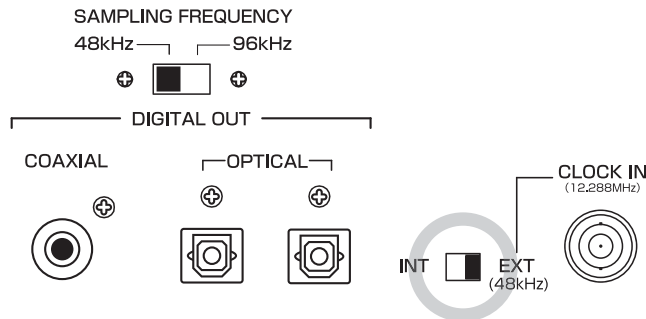
本機にクロックジェネレーターを接続すると､本機の内部動作モードはサンプリング周波数48kHzに固定されます。また、本機と接続できるクロックジェネレーターは 12.288MHz のクロック信号を出力できるものに限ります。

当社製のクロックジェネレーター RB-1 は本機と接続して使用することができます。

本機と外部クロックジェネレーターを接続する際は次の手順で接続、設定してください。

1. リアパネルのスイッチを変更する

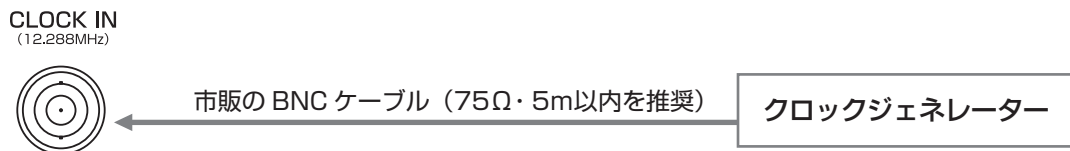
本機の電源を切り、リアパネルのスライドスイッチ（左下）を EXT 側に変更してください。

EXT 側に変更すると、SAMPLING FREQUENCY のスライドスイッチの設定によらず 48kHz に固定されます。

▲本機のリアパネル部（拡大）

2. 外部クロックジェネレーターと接続する

本機 CLOCK IN 端子に市販の BNC ケーブルで接続してください。

CLOCK IN
(12.288MHz)

市販の BNC ケーブル（75Ω・5m以内を推奨）

クロックジェネレーター

3. 外部クロックジェネレーターの電源を入れる

外部クロックジェネレーターの中にはクロック信号が安定するまでに十分なエージング動作（＝使用前にしばらく電源を入れておくこと）を必要とするものがあります。お使いのクロックジェネレーターの取扱説明書等をご参照頂き、12.288MHz を出力させてください。

4. 本機の電源を入れる

外部クロックジェネレーターが安定動作した段階で本機の電源を入れます。

他社製のクロックジェネレーターをご使用の方へ

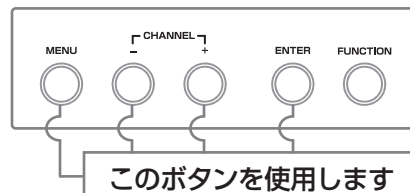
他社製のクロックジェネレーターをご使用の場合は接続する機器によって相性問題を生じる場合があります。接続するクロックジェネレーターの仕様等、取扱説明書でよく確認してください。

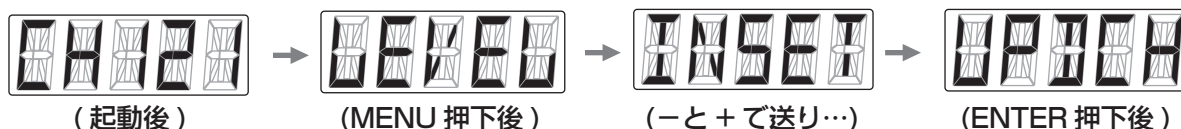
7.1 困ったときは　－工場出荷設定に戻す－

誤って不要な設定をしてしまい、お困りのときは工場出荷設定に戻してください

工場出荷設定について

本機チューナー基板に実装されているソフトウェアには、ミュージックバード対応チューナー全般に汎用的に対応させるため、本機には適合しない設定項目が含まれております。本機に適合しない設定については本書であえて扱っておりませんが、もし、設定操作を誤り、うまく受信できなくなったり、音が出なくなったりした場合は、本項の手順で工場出荷設定に戻し、再度 3.7 項の初期設定から設定をし直すことを推奨します。

なお、この操作を行うと、これまでに行った設定は全てクリアされます。

1. 本機の電源を入れ、MENU ボタンを 1 回押し、－ボタンと＋ボタンで INSET という表示に変えます。
   MENU ボタン押下後、－ボタンで送ると 5 回、＋ボタンで送ると 2 回押すと INSET 表示になります。
   INSET 表示になったら ENTER ボタンを押します。

(起動後)　(MENU 押下後)　(－と＋で送り…)　(ENTER 押下後)

2. UPDCH と表示されている状態で、－ボタンか＋ボタンを 2 回押します。FASET という表示になりますので、ENTER ボタンを押します。続いて Y/N の表示になり、Y が点滅されている状態で、ENTER ボタンを押します。すると、表示が Y だけになりますので、ここでさらにもう 1 度 ENTER ボタンを押します。

(－ボタン2回)　(ENTER 押下後)　(ENTER 押下後)

3. 工場出荷状態に戻り、チューナーが再起動し、初期設定を行う状態になります。
   初期設定方法については 3.7 項をご参照ください。

工場出荷時の設定内容一覧表

項目	設定値		備考
コンバーター電源供給設定	常時供給	ON	初期設定が完了するまでは OFF になっています
コンバーター周波数設定	11300MHz	11300	
受信周波数設定	12658MHz	12658	
シンボルレート設定	21096Ksps	21096	
アンテナコンバーター動作電圧	11V	11	
最大音量設定（衛星受信）	50(最大)	50	本機では無効な項目です
最大音量設定（外部入力）	50（最大）	50	本機では無効な項目です
明るさ設定	標準	DIM2	
バックアップ時間	オフ	OFF	本機では必ずオフで使用してください
切替レベル設定	25	25	本機では無効な項目です
スタートチャンネル設定	ラストチャンネル	LASCH	
スリープタイマー機能	オフ	OFF	
タイマープレイ機能	オフ	OFF	
入力設定	衛星受信	SAT	本機では必ず衛星受信で使用してください
音量設定	30	VOL30	本機では無効な項目です
リモコン設定	リモコン利用可	ON	
バックアップ電源供給設定	常時 OFF	OFF	本機では必ず常時 OFF で使用してください
オーディオモード	ステレオ	STERE	本機では無効な項目です

困ったときは　－エラー表示一覧表－

エラー表示		対処方法
A001		信号を受信できていません。悪天候の場合は回復するまでお待ちください。そうでない場合は、アンテナ入力端子の接続をご確認ください。
A002		コンバーター電源がショートしています。本機の電源ケーブルを抜き、アンテナケーブルや他の MB チューナーの設定をご確認ください。
A003		本機では使用していないエラーコードです。
A004		スマートカードを挿入してください。
A005		スマートカードの挿入方向が誤っています。3.2 項を参照の上、正しく挿入してください。
A006		ご契約されていないチャンネルか、スクランブルが掛かっています。ミュージックバードカスタマーセンターにご連絡ください。
A007		スマートカードが挿入されていません。本機の電源ケーブルを抜き、スマートカードを抜き差しして、再度電源を投入してください。
A008		スマートカードが認証されません。本機の電源ケーブルを抜き、スマートカードを抜き差しして、再度電源を投入してください。
A009		スクランブルが掛かっています。ミュージックバードカスタマーセンターにご連絡ください。
A010		スマートカードがペアリングされていません。本機の電源ケーブルを抜き、スマートカードを抜き差しして、再度電源を投入してください。
A011		スマートカードがペアリングされていません。本機の電源ケーブルを抜き、スマートカードを抜き差しして、再度電源を投入してください。
A012		スマートカードが停止中です。本機の電源ケーブルを抜き、スマートカードを抜き差しして、再度電源を投入してください。
A013		要注意指定されたスマートカードです。本機の電源ケーブルを抜き、スマートカードを抜き差しして、再度電源を投入してください。
A014		スマートカードが無効です。本機の電源ケーブルを抜き、スマートカードを抜き差しして、再度電源を投入してください。
A015		スマートカードが応答しません。本機の電源ケーブルを抜き、スマートカードを抜き差しして、再度電源を投入してください。
A016		スマートカード通信エラーです。本機の電源ケーブルを抜き、スマートカードを抜き差しして、再度電源を投入してください。

●上記の対処方法で解決しない場合はミュージックバードカスタマーセンターにご相談ください。

困ったときは　－症例別－

誤って不要な設定をしてしまい、お困りのときは工場出荷設定に戻してください

音が出ない！

本機の LED ディスプレイは正常な表示をしているのに音声が出ないときは次のことを確認してください。

本機の状態	対処方法
音が出ない。	リアパネル左下のスライドスイッチが EXT 側になっている可能性があります。INT 側に戻してください。
本体からカチカチと音がしている。	設定内容に不具合があるか、リモコンなどで本機で使用しないモードに入っています。7.1 項を参照の上、工場出荷設定に戻してください。
レベルはあるのに音が出ない。本体からカチカチと音がする。	異なる衛星を受信していることが考えられます。3.8 項を参照してください。
アナログでは音が出るが、デジタルで音が出ない。	内部動作モードを確認し、そのサンプリング周波数に対応しているデジタル機器かどうかをご確認ください。
チャンネル表示と AUX を交互に繰り返している。	リモコンなどで本機で使用しないモードに入っています。7.1 項を参照の上、工場出荷設定に戻してください。

表示がおかしい

本機の LED ディスプレイが正常な表示をしていない場合、次のことを確認してください。
A から始まるエラーコードを表示している場合は 7.2 項を参照してください。

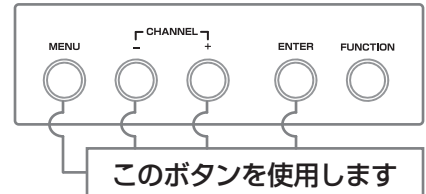
本機の状態	対処方法
チャンネル表示にならない。（LEVEL 表示になる等）	番組情報更新が正常に完了していない可能性があります。8 項を参照し、番組情報更新をお試しください。
E001 や E002 と表示されている。	電源ケーブルを一旦抜いて、再度指し直してください。それでも改善されない場合は修理をご依頼ください。
チャンネル表示が点滅している。	リモコンの消音ボタンが押されています。本機では消音機能は働きません。リモコンの消音ボタンを押して解除してください。
KEYLO という表示になる。	ボタン操作を受け付けない設定になっています。本体の FUNCTION ボタンを押しながら MENU ボタンを３秒以上押してください。
リモコン操作をしても反応しない。	リモコン動作を無効にする設定になっています。5.2 項を参考にし、リモコンを有効にしてください。
表示がゆらぐ。	チューナー基板の仕様により、マイコン処理中に表示がゆらいで見えることがあります。ご使用に際して問題はありません。

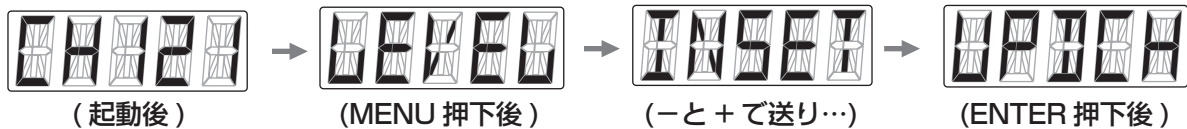
よくある質問−A001 が出て受信できない−

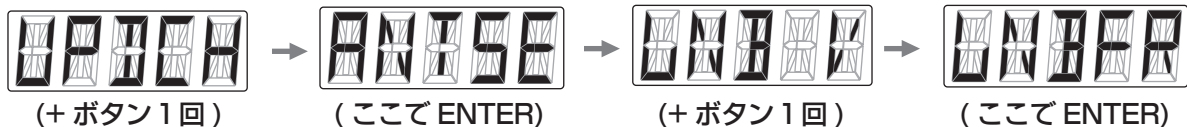
A001 という表示で受信できないときはコンバータの局部発振周波数を確認します

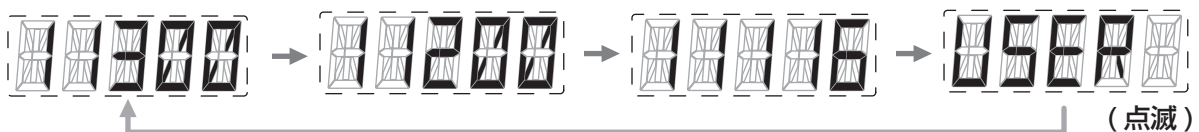
A001 エラーについて

A001 エラーはご使用のアンテナで衛星を受信ができていないことを示しています。ほかのミュージックバードチューナーで受信できる、もしくは過去にできていた場合は、本機に設定されているコンバーターの局部発振周波数の設定に誤りがある場合が多々あります。

ミュージックバード対応アンテナは通常 11200MHz（11.2GHz）か 11300MHz（11.3GHz）のいずれかです。初期設定の段階で 11.2GHz に設定されている場合は 11.3GHz の設定を、11.3GHz の設定をされている場合は 11.2GHz の設定を下記手順に従いお試しください。

1. 本機の電源を入れ、MENU ボタンを 1 回押し、−ボタンと + ボタンで INSET という表示に変えます。
MENU ボタン押下後、−ボタンで送ると 5 回、+ ボタンで送ると 2 回押すと INSET 表示になります。
INSET 表示になったら ENTER ボタンを押します。

(起動後)　(MENU 押下後)　(−と + で送り…)　(ENTER 押下後)

2.UPDCH と表示されている状態で、+ ボタンを 1 回押します。ANTSE という表示になりますので、ENTER ボタンを押します。さらに + ボタンを 1 回押し、LNBFR を表示させて ENTER ボタンを押します。

(+ ボタン 1 回)　(ここで ENTER)　(+ ボタン 1 回)　(ここで ENTER)

3. 点滅している値はアンテナの局部発振周波数を示しています。お使いのアンテナの取扱説明書などに記載の周波数に、本機の−（マイナス）ボタンと +（プラス）ボタンで合わせます。これらのボタンを押すたびに表示が次のように変わります。

(点滅)

当社、推奨アンテナ DMB4503 は 11300 です。お使いのアンテナの周波数を表示させたら、ENTER ボタンを押します。ENTER ボタンを押すと点滅が停止します。

> **USER について**
>
> “USER”が点滅しているときに ENTER ボタンで決定すると、アンテナの局部発振周波数をリモコンの数字ボタン（0〜9）で入力することができます。入力中は点滅表示になります。入力後、ENTER ボタンで確定します。

4 .MENU ボタンを押し、チャンネル表示に戻します。設定が変更されていますので、受信できるかどうかを確認してください。

9 本機の仕様

受信範囲	950MHz ～ 2150MHz（2MHz ステップ）　（JCSAT-2A）	
入力端子	アンテナ入力端子	F 型　1 系統
	外部クロック信号入力端子	BNC　1 系統（12.288MHz スーパークロック）
音声出力端子	アナログ（RCA）	2 系統　（2V RMS）
	同軸デジタル	1 系統
	光デジタル	2 系統
D/A 変換部	24bit 48kHz / 96kHz, S/N 比 120dB	
内部動作モード	サンプリング周波数 48kHz（工場出荷時 48kHz）と 96kHz から選択	
電源	AC100V	
消費電力	15W	
外形寸法	幅 430mm 高さ 90mm 奥行 340mm	
質量	7.5kg	
主な付属品	リモコン・電源ケーブル・ステレオピンコード・スマートカード・取扱説明書	

注）仕様は改良のため予告なく変更されることがございます

10 お問い合わせ先

受信・契約・放送・エラー表示などに関するお問い合わせは・・・

ミュージックバードカスタマーセンター　TEL.03-3221-9000

受付時間　（平日）10:00 ～ 19:00 (12:00 ～ 13:00 除く)
（土日祝日）10:00 ～ 18:00 (12:00 ～ 13:00 除く)

＊メールでのお問い合わせは　e-mail@musicbird.co.jp　まで

その他のお問い合わせは・・・

港北ネットワークサービス株式会社
TEL.045-507-3091　FAX.045-507-3092

受付時間　（平日）10:00 ～ 17:00 (12:00 ～ 13:00 除く)

＊メールでのお問い合わせ、および技術的なお問い合わせは　info@conclusion.jp まで